

ランキングごとに異なる大学の顔ぶれ ～THEの各ランキングにランクインした日本の大学例

世界ランキング 2016-17 アジアランキング 2017 日本ランキング 2017

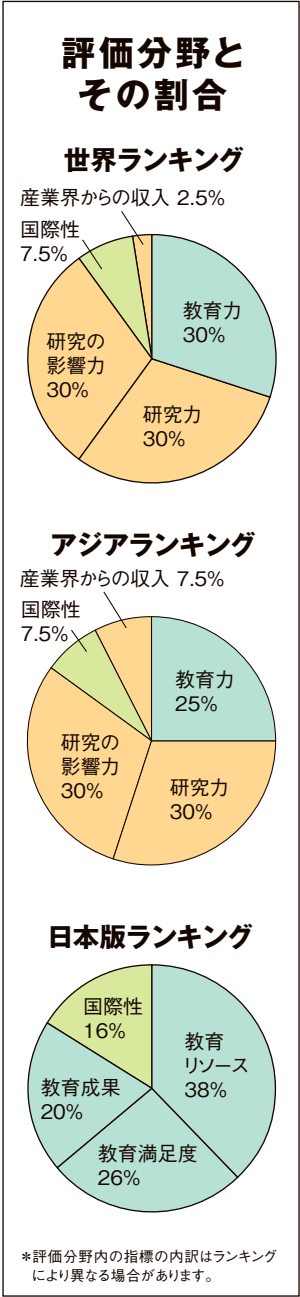
順位	区分	教育機関
39	国	東京大学
= 91	国	京都大学
201-250	国	東北大学
251-300	国	大阪大学
251-300	国	東京工業大学
301-350	国	名古屋大学
351-400	国	九州大学
351-400	私	豊田工業大学
401-500	国	北海道大学
401-500	国	東京医科歯科大学
401-500	公	首都大学東京
401-500	国	筑波大学
501-600	国	広島大学
601-800	国	千葉大学
601-800	国	愛媛大学
601-800	私	東京慈恵会医科大学
601-800	私	順天堂大学
601-800	国	金沢大学
601-800	私	慶應義塾大学
601-800	私	近畿大学
601-800	国	神戸大学
601-800	国	高知大学
601-800	国	熊本大学
601-800	国	長崎大学
601-800	公	名古屋市立大学
601-800	国	名古屋工業大学
601-800	国	新潟大学
601-800	国	岡山大学
601-800	公	大阪市立大学
601-800	国	信州大学
601-800	国	徳島大学
601-800	国	東京農工大学
601-800	私	東京理科大学
601-800	国	豊橋技術科学大学
601-800	私	早稲田大学
601-800	国	山形大学
601-800	国	山梨大学
601-800	公	横浜市立大学
801+	私	千葉工業大学
801+	私	中央大学
801+	私	同志社大学
801+	国	岐阜大学
801+	国	群馬大学
801+	私	法政大学
801+	国	岩手大学
801+	私	関西大学
801+	私	関西学院大学
801+	国	九州工業大学
801+	私	明治大学
801+	国	長岡技術科学大学
801+	国	大分大学
801+	公	大阪府立大学
801+	私	立命館大学
801+	私	埼玉医科大学
801+	国	埼玉大学
801+	私	芝浦工業大学
801+	国	島根大学
801+	国	静岡大学
801+	私	昭和大学
801+	私	上智大学
801+	私	東海大学
801+	私	東京都市大学
801+	私	東京電機大学
801+	国	東京海洋大学
801+	国	鳥取大学
801+	国	富山大学
801+	国	宇都宮大学
801+	国	山口大学
801+	国	横浜国立大学

順位	区分	教育機関
7	国	東京大学
14	国	京都大学
26	国	東北大学
30	国	東京工業大学
32	国	大阪大学
35	国	名古屋大学
40	私	豊田工業大学
45	国	九州大学
51	国	東京医科歯科大学
= 56	国	筑波大学
58	国	北海道大学
69	公	首都大学東京
101-110	国	広島大学
111-120	国	千葉大学
111-120	国	愛媛大学
111-120	国	金沢大学
111-120	私	慶應義塾大学
121-130	公	大阪市立大学
131-140	国	神戸大学
131-140	国	高知大学
131-140	国	東京農工大学
131-140	私	早稲田大学
141-150	私	順天堂大学
141-150	国	熊本大学
141-150	公	名古屋市立大学
141-150	国	岡山大学
151-160	国	徳島大学
151-160	私	東京理科大学
151-160	公	横浜市立大学
171-180	国	豊橋技術科学大学
181-190	国	名古屋工業大学
181-190	国	信州大学
191-200	私	東京慈恵会医科大学
191-200	私	近畿大学
191-200	私	山形大学
201-250	私	中央大学
201-250	国	岐阜大学
201-250	国	群馬大学
201-250	国	九州工業大学
201-250	国	長岡技術科学大学
201-250	国	長崎大学
201-250	国	新潟大学
201-250	公	大阪府立大学
201-250	国	埼玉大学
201-250	私	埼玉医科大学
201-250	国	静岡大学
201-250	私	昭和大学
201-250	私	東海大学
201-250	国	東京海洋大学
201-250	国	富山大学
201-250	国	山口大学
201-250	国	山梨大学
201-250	国	横浜国立大学
251+	私	千葉工業大学
251+	私	同志社大学
251+	私	法政大学
251+	国	岩手大学
251+	私	関西大学
251+	私	関西学院大学
251+	私	明治大学
251+	私	東京都市大学
251+	国	大分大学
251+	私	立命館大学
251+	私	芝浦工業大学
251+	国	鳥根大学
251+	私	上智大学
251+	私	東京電機大学
251+	国	鳥取大学
251+	国	宇都宮大学

順位	区分	教育機関
1	国	東京大学
2	国	東北大学
3	国	京都大学
= 4	国	名古屋大学
= 4	国	東京工業大学
6	国	大阪大学
7	国	九州大学
8	国	北海道大学
9	国	筑波大学
10	私	早稲田大学
11	私	慶應義塾大学
12	国	広島大学
13	国	神戸大学
14	国	一橋大学★
15	私	国際基督教大学★
16	国	千葉大学
17	国	長岡技術科学大学
18	私	上智大学
19	国	金沢大学
20	公	国際教養大学★
21	国	岡山大学
22	私	立命館大学
23	公	会津大学★
= 24	私	立命館アジア太平洋大学★
= 24	公	首都大学東京
26	国	熊本大学
27	国	東京外国語大学★
= 28	国	九州工業大学
= 28	国	長崎大学
30	国	新潟大学
= 31	国	東京農工大学
= 31	私	東京理科大学
33	国	横浜国立大学
34	私	明治大学
35	私	同志社大学
36	国	東京海洋大学
37	国	豊橋技術科学大学
38	国	東京医科歯科大学
39	国	お茶の水女子大学★
40	私	関西学院大学
41	国	山口大学
42	国	福井大学★
= 43	国	電気通信大学★
= 43	国	山形大学
45	国	信州大学
46	私	神田外語大学★
47	公	大阪市立大学
48	公	福岡女子大学★
49	国	埼玉大学
50	私	青山学院大学★
51	国	群馬大学
52	公	横浜市立大学
53	国	宇都宮大学
54	私	近畿大学
= 55	私	中央大学
= 55	私	南山大学★
57	私	関西大学
= 58	公	秋田県立大学★
= 58	私	芝浦工業大学
= 60	国	京都工芸繊維大学★
= 60	国	名古屋工業大学
62	公	北九州市立大学★
63	国	佐賀大学★
= 64	国	愛媛大学
= 64	国	富山大学
66	国	岩手大学
67	私	日本大学★
= 68	国	秋田大学★
= 68	私	学習院大学★
= 68	私	金沢工業大学★

- 国立大学
- 公立大学
- 私立大学

*「★」は日本版で初めてTHEランキングに登場した大学
*「=」は同順位の大学あり
*同ランクでの掲載順は原則大学名の英語表記のアルファベット順



教育力の指標としての 日本大学ランキング

Japan University Rankings

研究力
Research

学部
Faculty

大学院
Graduate School

世界版が評価する領域

日本版が評価する領域

教育力
Teaching

Times Higher Education (THE) が手がける世界大学ランキングの日本版が、2017年3月末に発表された。大学の教育力を評価したこの新しいランキングが与える、日本の高等教育や国内外の学生への影響についてレポートする。

Report THE世界大学ランキング日本版 結果分析

日本の大学の「教育力」はどれくらいか

イギリスのTHEによる世界大学ランキングは、既に10年以上の実績があり、その評価領域においては大学の「研究力」が重視されてきた。これに対し今春初めて発表された日本版は、大学の「教育力」を重視している。

評価分野は「教育リソース」「教育満足度」「教育成果」「国際性」の4つ。各指標のスコアを評価する割合に応じて合算し、合計スコアによって総合順位が決まる。評価指標の設定には日本の教育事情を考慮する必要があるため、ベネッセグループが助言を行った。

日本では長らく、いわゆる偏差値が高校生の進路選択や企業の採用にも影響を与えてきた。しかし近年、大学入学後の「教育力」が、高校生や保護者、社会からも注目されており、その関心に応えたのがこの日本版ランキングだと言える。もう一つ特筆すべきなのは、世界の高等教育界に大きな影響力を持つTHEによって、全世界に発信されたということ。世界の中でこういったポジションを築いていくのか、その戦略立案や広報活動に影響を与えるものになるだろう。

The World affairs bring a big opportunity for universities in Japan.

Phil Baty

フィル・ベイティ●THE世界大学ランキング編集長。
1996年よりTimes Higher Education誌にて、チーフ・レポーター、
ニュースエディター等を経て現在に至る。2012年にはThe Australian紙にて
「教育界で最も影響力のある人物」上位15人に選ばれた。

Times Higher Education (THE) は、イギリスTimes紙より、1971年に生まれました。大学ランキングを発表し始めたのは2004年。現在は年間約2800万人がTHEのWebサイトを訪れており、何らかの形でランキングにアクセスした人は約6億8900万人に上ります。

これだけ多くの人々に注目されるようになったのは、生徒や学生にとって高等教育をどこで受けるかが最重要課題になってきているからでしょう。今では各国の高等教育政策の指標としても、ごく一

般的に使われるようになっていす。日本の大学は現在、国際競争力の弱さ、少子化、資金不足などの課題に直面しています。世界中の大学の評価データが集まったこのTHEのデータベースや今回の日本版ランキングの活用によって、自学のさまざまな強み、弱みを把握し、大学の経営を効率化し、それらの課題を克服することを願っています。

経営に役立てるだけでなく、このプラットフォームを使って自学の特長や魅力を世界に発信することも可能です。



アメリカが自国優先の政策を取り始め、イギリスは非常に厳しいビザ発給ルールを打ち出している今、日本の大学にはチャンスです。この機会を捉え、教育力の高い日本の大学に優秀な学生や研究者を招きましよう。

2016年に発表した初の国別ランキングであるアメリカ版は、教育リソース、教育プロセス、教育成果を中心に、国際性を含む学習環境の多様性を指標に加えてランキングを作成しました。特に、「受け入れる学生が優れている」と「教育が優れている」との弁別にはこだわり、「入学者に付加価値をつけて送り出

す大学」を見いだせるランキングとなることを心がけました。

日本版も、アメリカ版と考え方は同じです。教育リソースに、論文数や競争的資金獲得数などの研究力を評価する要素が入っている点が気になるかもしれませんが、これは「優れた教育は世界第一級の研究を土台に行われる」という考えに基づいたものです。

世界ランキングをもとに日・中・韓を比較すると、日本は教育力は高いものの、国際性が低く、他の指標もめだっていません。中国は国や地域による資金投入

が活発で、世界的に評価を高めている大学が多く見られます。韓国は資金の投入に加え、外国人学生の獲得や教員の招聘に力を入れており、国際性を急激に高めています。国際マーケットでは、日本は中韓に後れをとっているのです。

ただし世界ランキングに比べると、日本版の大学間のスコアは僅差です。つまり、教育力にフォーカスすれば、日本の大学は総じて高いレベルにあると考えられます。学生一人あたりの教員数に代表される教育力の高さを、もっと世界に発信すべきではないでしょうか。

Publicize the advantage of your institution all around the world.

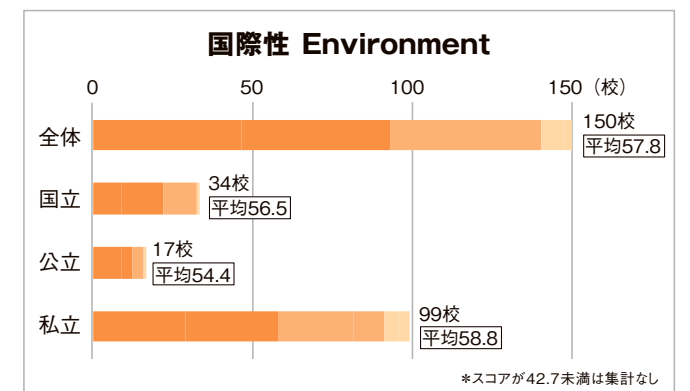
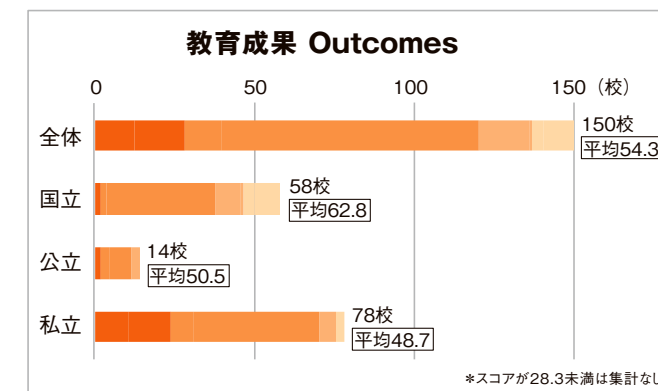
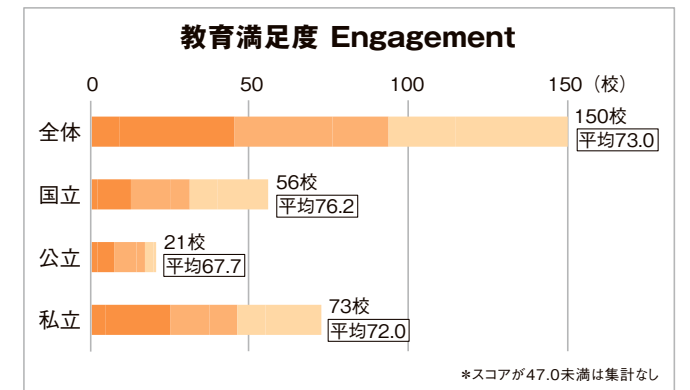
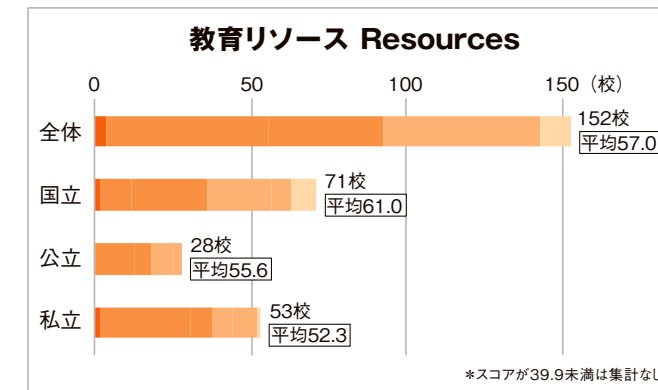
Duncan Ross

ダンカン・ロス●TES Global社データ・解析ディレクター。
世界大学ランキング・国別ランキング設計の責任者。
DataKind UKの理事会の議長を務め、政府の公開データを活用し、
非営利組織全体の大規模なデータの利用を推進している。



国公私、それぞれに異なる強い分野 ～分野別TOP150位の設置区分別スコア分布

*スコア帯 ■20～39.9 ■40～59.9 ■60～79.9 ■80～100.0



リベラルアーツ大、女子大、単科大もランキング

日本版ランキングならではの特徴は、すでに発表済みの、世界とアジア版のランキングと大学の顔ぶれや順位と比べてみるとわかりやすい(P.3)。アジアは世界のデータを元にした研究力重視の評価で、産業界からの収入の評価割合が高いなど、「アジアらしさ」が反映されている。一方、日本版は「教育力」重視のため、世界やアジアとはデータソースや評価項目等が異なる。

その結果、例えば国際基督教大学(15位)、国際教養大学(20位)のようなリベラルアーツカレッジ、お茶の水女子大学(39位)や福岡女子大学(48位)などの女子大がランキングしているのは、世界やアジアのランキングにはない日本版ならではの傾向だ。また、会津大学(23位)や立命館アジア太平洋大学(24位)など、特徴を持った大学も上位に入っている。

日本版は教育力にフォーカスしたランキングなので、世界ランキングとは異なり、文理のバランスが取れている点も特徴だ。一橋大学(14位)や神田外語大学(46位)のような人文社会系の単科大学や、長岡技術科学大学(17位)の

ような理工系の単科大学もランキングしている。

国立は教育リソース、私立は国際性に強み

分野別に設置区分ごとに見ると(上の図表)、国立は「教育リソース」に強みがあり、私立は「国際性」に特徴があることがうかがえる。

国立は「国際性」を除く3分野の平均スコアが全体平均を上回っており、特に「教育リソース」のスコアが高い。他方、「教育満足度」と「教育成果」は、「教育リソース」と比べるとランキング校数が少なく、大学間のスコア差もある。豊富な「教育リソース」を教育に生かすことができているか、見直す必要もありそうだ。

公立はめだつて高い分野・低い分野はなく、ランキング校数がやや少ない。

私立は、「教育満足度」の平均スコアは国立に引けをとらず、「国際性」はランキング校数でも国立を引き離している。国立に比べると「教育リソース」が低い中、特色を打ち出そうと工夫している様子がうかがえる。

P.6からは、評価指標の詳細な解説とともに、各上位大学の傾向を分析する。

分野別ランキングTOP20

国立大学 公立大学 私立大学 「-」:総合順位・スコアが151位以下を示す

教育リソース

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	国	東京医科歯科大学	87.9	38	62.3
2	国	東京大学	87.8	1	88.5
3	国	京都大学	84.2	3	86.8
4	国	東北大学	83.6	2	87.4
5	国	浜松医科大学	82.8	92	49.2
6	国	東京工業大学	82.2	= 4	86.3
7	私	豊田工業大学	81.2	= 76	53.7
8	国	大阪大学	80.4	6	86.1
9	国	名古屋大学	80.1	= 4	86.3
10	公	札幌医科大学	79.6	111-120	44.1-46.2
11	国	九州大学	79.1	7	85.1
12	国	滋賀医科大学	78.5	131-140	39.6-42.0
13	私	兵庫医科大学	77.4	-	-
14	公	奈良県立医科大学	76.2	-	-
15	国	旭川医科大学	75.6	121-130	42.2-44.0
16	国	北海道大学	75.5	8	82.8
17	私	大阪医科大学	74.7	-	-
18	公	福島県立医科大学	74.5	111-120	44.1-46.2
19	私	日本医科大学	73.5	-	-
20	国	筑波大学	72.2	9	81.7

教育成果

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	国	東京大学	97.1	1	88.5
=2	国	京都大学	97.0	3	86.8
=2	国	大阪大学	97.0	6	86.1
4	国	東北大学	96.8	2	87.4
5	私	慶應義塾大学	96.5	11	75.4
6	国	名古屋大学	96.2	= 4	86.3
7	国	東京工業大学	96.0	= 4	86.3
8	国	北海道大学	95.6	8	82.8
9	国	九州大学	95.3	7	85.1
10	私	早稲田大学	91.2	10	75.9
11	国	一橋大学	87.1	14	72.4
12	国	筑波大学	86.4	9	81.7
13	国	神戸大学	83.2	13	74.4
14	国	広島大学	76.2	12	75.2
15	私	東京理科大学	68.1	= 31	63.5
16	国	千葉大学	67.0	16	70.6
17	私	立命館大学	65.7	22	67.5
18	私	上智大学	64.9	18	69.1
19	私	金沢工業大学	64.8	= 68	55.7
20	私	国際基督教大学	64.5	15	71.8

教育満足度

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	公	国際教養大学	99.9	20	67.9
2	国	東京大学	99.8	1	88.5
=3	国	東北大学	99.7	2	87.4
=3	国	京都大学	99.7	3	86.8
5	私	早稲田大学	99.5	10	75.9
6	私	慶應義塾大学	99.4	11	75.4
7	国	筑波大学	99.1	9	81.7
8	国	大阪大学	99.0	6	86.1
9	国	東京工業大学	98.8	= 4	86.3
=10	国	九州大学	98.7	7	85.1
=10	私	国際基督教大学	98.7	15	71.8
12	私	上智大学	98.6	18	69.1
13	国	名古屋大学	98.4	= 4	86.3
14	私	明治大学	98.3	34	63.3
15	国	北海道大学	98.2	8	82.8
16	国	一橋大学	97.8	14	72.4
17	国	広島大学	97.6	12	75.2
18	私	同志社大学	97.5	35	63.2
19	私	立命館大学	97.0	22	67.5
20	私	立命館アジア太平洋大学	96.1	= 24	65.4

国際性

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	私	立命館アジア太平洋大学	100.0	= 24	65.4
2	私	大阪経済法科大学	99.6	-	-
3	私	東京国際大学	95.7	141-150	38.6-39.5
4	私	麗澤大学	89.4	101-110	46.5-48.0
5	私	上智大学	88.8	18	69.1
6	国	東京外国語大学	87.5	27	64.9
7	公	福岡女子大学	85.7	48	59.8
8	私	山梨学院大学	84.7	-	-
9	私	国際基督教大学	83.9	15	71.8
10	私	北陸大学	83.5	-	-
11	私	垂細亜大学	78.8	141-150	38.6-39.5
12	公	会津大学	75.8	23	66.3
13	公	国際教養大学	74.4	20	67.9
14	私	神戸国際大学	73.9	-	-
15	私	明海大学	73.4	141-150	38.6-39.5
16	私	聖学院大学	73.1	-	-
=17	私	早稲田大学	72.9	10	75.9
=17	私	名古屋経済大学	72.9	-	-
19	私	神田外語大学	71.9	46	60.1
20	私	京都外国語大学	70.5	121-130	42.2-44.0

えめな一方で、研究者の評判調査は大学の実情をよく知っているとの理解から13%と高めた。

「国際性」は、どれだけ国際的な環境になっているかを示す。割合は4分野のうち16%と最も低い
が、項目ごとの割合は8%と、低くはない。

なお、THEは今回の指標がベストだとは思っていない。次年度以降、例えば在学生の満足度や進路決定率など、新たな項目の追加や、入試改革の流れの中で変化していくであろう学力についても、時代に即した指標を組み込んでいくことを検討中だ。より正確に教育力を評価できるよう、多くのステークホルダーからの意見を求めている。

特色が鮮明に反映される分野別ランキング

日本版では、総合ランキングのほか、分野別ランキングも発表された。分野別では設置区分別の特色が出ているほか、その分野で突出した大学がランクインしている。特に日本の弱みである「国際性」では、総合順位ではランク外となった私立大が多数入った。次のページでは、分野別の結果を、より詳しく見ていく。

THE世界大学ランキング日本版2017

評価指標解説と分野別ランキング

日本版の評価指標を、分野ごとのランキングと共に解説。自学の強化ポイントを見極めるヒントとして活用されたい。

多様な角度から各大学の教育力に迫る

まず、THEは、日本では認証評価が一定の教育水準を担保していると考えているため、認証評価を得ていない大学は評価対象外としている。その他の除外条件については左にまとめた。また、データの収集、集計プロセスについては、PwC(PricewaterhouseCoopers。世界の4大会計事務所の1つ)の監査を受けている。

「教育リソース」は、充実した

〔除外条件〕

①THEのデータコレクションポータルサイトにデータ入力をしなかった大学

②ベネッセからの調査(協力…日経リサーチ)に回答していない大学

③資金、学生数に関するデータが入力されていない大学

④「認証評価」を受けていない大学

教育が行われる可能性を示す。土台となる評価のため、割合も大きく、項目数も多い。資金や教員数のほか、研究力に関するものや、大学合格者の学力も含む。研究力については、「教育力のベースになる」との考えから、学力については、「学力が高い学生が多いほど学びの環境が良化する」との考えから取り入れられた。

「教育満足度」は、教育に対する期待の実現度を示す。大学や大学に送り出した卒業生から情報を得る機会が多く、高校生の進路決定への影響力が非常に大きいことから、高校の進路指導教員を対象とした評判調査がもとになっている。

「教育成果」は、卒業生の企業での活躍や教育に対する評判を表す。企業の評判調査は上場企業に限定しているため割合は7%と抑

日本版2017の評価指標

分野	項目	割合	対象年	データ元	備考
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金 (経常収入／在籍学生数)	10%	38%	2015 年	大学入力情報
	学生一人あたりの教員数 (専任教員数／在籍学生数)	8%		2015 年	大学入力情報
	教員一人あたりの論文数・被引用回数 (論文数・被引用回数／専任教員数)	7%		2011-15 年	エルゼビア社 Scopus より THE が抽出
	大学合格者の学力	6%		2015 年	ベネッセ ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数 (大学別の獲得件数／専任教員数)	7%		2015 年	内閣府 HP 「競争的資金制度」一覧より文部科学省管轄のものを抽出
教育満足度 Engagement	高校教員の評判調査： グローバル人材育成の重視	13%	26%	2016 年	ベネッセ 調査対象：日本の高校の進路指導教員。調査書発送校数：5605 校*、回答校数は 2440 校 (全体の約 89% の大学名が挙がっている。特定の地域に有利・不利が出ない集計)
	高校教員の評判調査： 入学後の能力伸長	13%		2016 年	ベネッセ
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	7%	20%	2015 年	日経 HR 社 調査対象：2016 年 2 月現在の全上場企業 3624 社（ジャスダック等新興市場含む、外国企業は除く）。回答社数：591 社 調査項目：過去 2 年間の新卒採用実績上位 10 大学について、学生のイメージを 12 項目、各 6 段階で聞いている
	研究者の評判調査	13%		2015-16 年	THE 世界大学ランキング 研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
国際性 Environment	外国人学生比率 (在籍外国人学生数／在籍学生数)	8%	16%	2015 年	大学入力情報
	外国人数員比率 (在籍外国人数員数／専任教員数)	8%		2015 年	大学入力情報

*複数の科やコースを設置している高校には、調査書を複数校送付した場合もある。 文／児山雄介

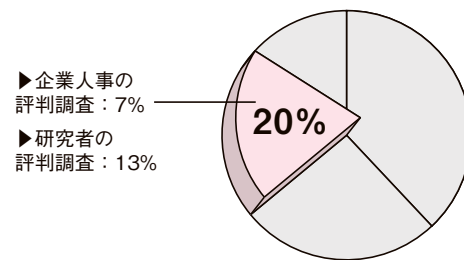
分野別＜教育成果＞ 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	97.1	1	首都大学東京	64.1	1	慶應義塾大学	96.5
=2	京都大学	97.0	2	国際教養大学	63.6	2	早稲田大学	91.2
=2	大阪大学	97.0	=3	大阪市立大学	59.8	3	東京理科大学	68.1
4	東北大学	96.8	=3	大阪府立大学	59.8	4	立命館大学	65.7
5	名古屋大学	96.2	5	北九州市立大学	58.1	5	上智大学	64.9
6	東京工業大学	96.0	6	兵庫県立大学	56.4	6	金沢工業大学	64.8
7	北海道大学	95.6	7	横浜市立大学	54.1	7	国際基督教大学	64.5
8	九州大学	95.3	8	滋賀県立大学	52.1	8	同志社大学	60.9
9	一橋大学	87.1	9	秋田県立大学	50.2	=9	明治大学	59.6
10	筑波大学	86.4	10	広島市立大学	43.6	=9	東海大学	59.6

*同順位の場合は、原則として大学名の英文表記のアルファベット順に掲載しています。

教育成果

Outcomes



▶企業人事の
評判調査：7%
▶研究者の
評判調査：13%

成果を出す教育強化と認知されることも重要

設置区分別TOP10内で見ると、研究者の評判調査の割合が高いこともあり国立大のスコアが高い。私立大ではTOP2の慶應義塾大学、早稲田大学のスコアが3位以下を大きく引き離している。一方で金沢工業大学、国際基督教大学といった特色ある教育を行っている大学もTOP10に入っている。総合順位との相対的な位置付けでは、東海大学（総合85位）のスコアが高い。

スコアの高い大学に見られる傾向としては、「理工系の研究力を強みにしており、研究者からの評判が高い」「大規模大学であり、多くの卒業生が社会で活躍中」「文理問わず実学系の学部を持ち、就職に強いと認知されている」などがある。

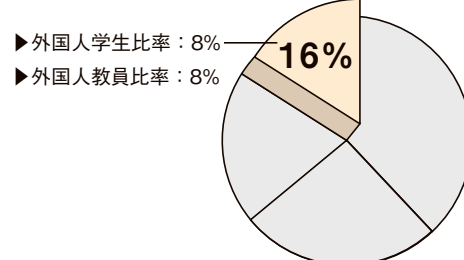
前者2点は学部構成、歴史、規模によるところが大きいものの、これからの社会で求められる人材や能力養成に産学共同で取り組み続け、教育成果を出すことが重要である。

努力が反映されやすいのは3点目だ。実際に就職に強いことを前提に、そのイメージをいかに定着させていくか、広報力が問われる。

分野別＜国際性＞ 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京外国語大学	87.5	1	福岡女子大学	85.7	1	立命館大学	100.0
2	筑波大学	70.1	2	会津大学	75.8	2	大阪経済法科大学	99.6
3	長岡技術科学大学	69.6	3	国際教養大学	74.4	3	東京国際大学	95.7
4	名古屋大学	68.9	4	北九州市立大学	63.1	4	麗澤大学	89.4
5	一橋大学	67.9	5	宮崎公立大学	56.0	5	上智大学	88.8
6	大阪大学	64.9	6	長崎県立大学	55.1	6	山梨学院大学	84.7
7	東北大学	64.8	7	新潟県立大学	54.9	7	国際基督教大学	83.9
8	九州大学	64.4	8	島根県立大学	51.0	8	北陸大学	83.5
9	東京工業大学	63.7	9	愛知県立大学	48.3	9	亜細亜大学	78.8
10	東京藝術大学	63.1	10	前橋工科大学	48.0	10	神戸国際大学	73.9

国際性
Environment



- ▶外国人学生比率：8%
- ▶外国人教員比率：8%

国際性は留学生と外国人数員の在籍比率から算出されている。全大学を通した首位が立命館アジア太平洋大学であるのをはじめ、私立大のスコアの高さがめだつ。私立大のTOP10には、総合順位が151位以下の大学が4校入っている。

一口に外国人の比率が高いといってもいくつかのタイプがある。1つは「学位の取得を目的とした正規留学生を多く受け入れている」例である。次に、「外国人数員による国際色豊かな授業が展開されている」例があり、立命館アジア太平洋大学などがそれにあたるだろう。同大学では学生と教員の半数が外国人で、学部での講義の8割を日英二言語で開講している。

外国人留学希望者に向けた募集活動では、日本語学校に広報を行うほか、海外在住者にアプローチする手法も増えている。

*ある調査によると、約半数の留学生が、留学先選びにTHEのランキングを活用している。教育力を示すエビデンスとして、日本版のスコアの活用も検討してみるとよいだろう。

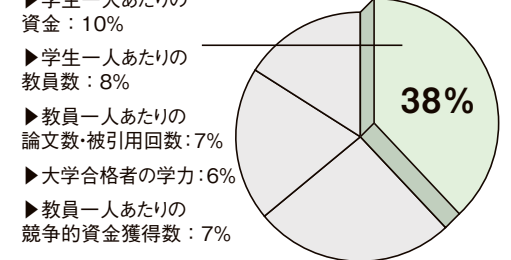
*留学生募集エージェンシーIDPによる、同社を通じて留学した学生、留学予定の学生、計463人を対象とした調査。2012年実施。

分野別＜教育リソース＞ 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京医科歯科大学	87.9	1	札幌医科大学	79.6	1	豊田工業大学	81.2
2	東京大学	87.8	2	奈良県立医科大学	76.2	2	兵庫医科大学	77.4
3	京都大学	84.2	3	福島県立医科大学	74.5	3	大阪医科大学	74.7
4	東北大学	83.6	4	名古屋市立大学	68.0	4	日本医科大学	73.5
5	浜松医科大学	82.8	5	横浜市立大学	67.6	5	金沢医科大学	71.1
6	東京工業大学	82.2	6	大阪市立大学	64.4	=6	関西医科大学	70.9
7	大阪大学	80.4	7	大阪府立大学	63.8	=6	東京慈恵会医科大学	70.9
8	名古屋大学	80.1	8	九州歯科大学	63.7	8	東京女子医科大学	70.8
9	九州大学	79.1	9	首都大学東京	60.7	9	聖路加国際大学	70.5
10	滋賀医科大学	78.5	10	会津大学	60.3	10	埼玉医科大学	65.9

*同順位の場合は、原則として大学名の英文表記のアルファベット順に掲載しています。

教育リソース



- ▶ 学生一人あたりの資金：10%
- ▶ 学生一人あたりの教員数：8%
- ▶ 教員一人あたりの論文数・被引用回数：7%
- ▶ 大学合格者の学力：6%
- ▶ 教員一人あたりの競争的資金獲得数：7%

入学者の学力向上と 教員の研究努力がカギ

どれだけ充実した教育が行われる可能性があるかは、資金の豊富さや学生一人あたりの教員数が最も影響するため、国からの補助が相対的に厚い国立大（特に医学部を持つ大学）や、医療系私立大のスコアが高くなる傾向にある。

総合順位では100位以下であつた札幌医科大学、滋賀医科大学など、医大がTOP10にランクインしている。その中にあつて、医学部を持たない首都大学東京、会津大学、豊田工業大学が上位にランクインしていることは注目値する。

上位にランクインした大学を見ると、全体的に資金力を生かして学生に対して手厚い教育環境を用意しているところが多い。

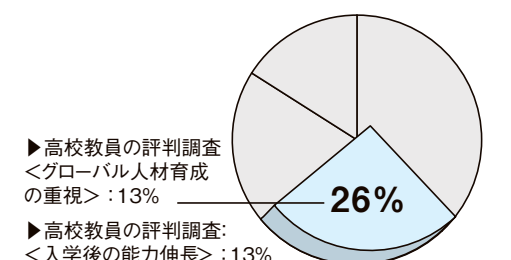
それ以外では、「合格者の学力を高めている」「教員が優れた論文を書き、かつ大学に競争的資金と呼び込んでいる」大学がめだっている。これらの施策は、学生の教育環境をよくし、かつ、「高校教員の評判調査」「研究者の評判調査」といった教育満足度や教育成果を底上げするものでもある。長期的視点で地道に取り組んでいきたい項目だ。

分野別＜教育満足度＞ 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	99.8	1	国際教養大学	99.9	1	早稲田大学	99.9
=2	東北大学	99.7	2	会津大学	87.4	2	慶應義塾大学	99.4
=2	京都大学	99.7	3	北九州市立大学	86.8	3	国際基督教大学	98.7
4	筑波大学	99.1	4	首都大学東京	84.6	4	上智大学	98.6
5	大阪大学	99.0	5	都留文科大学	79.0	5	明治大学	98.3
6	東京工業大学	98.8	6	高崎経済大学	75.0	6	同志社大学	97.5
7	九州大学	98.7	7	福岡女子大学	73.6	7	立命館大学	97.0
8	名古屋大学	98.4	=8	愛知県立大学	68.8	8	立命館アジア太平洋大学	96.1
9	北海道大学	98.2	=8	長崎県立大学	68.8	9	近畿大学	95.3
10	一橋大学	97.8	10	秋田県立大学	67.7	10	関西学院大学	94.9

*同順位の場合は、原則として大学名の英文表記のアルファベット順に掲載しています。

教育満足度



▶高校教員の評判調査
＜グローバル人材育成
の重視＞：13%

▶高校教員の評判調査：
＜入学後の能力伸長＞：13%

資金力、入試難易度とは必ずしも比例しない

設置区分別TOP10を見ると、国私でのスコアの差はほとんど見られない。教育リソースでは国立のスコアが高かったことを考え合わせると、私立大のパフォーマンスのよさがうかがえる。私立大のTOP10は大規模大学が多いが、11位以降には神田外語大学（13位）、金沢工業大学（18位）、津田塾大学（20位）といった中規模以下の大学も入っている。

公立大、私立大のランキング上位には入試難易度が上位ではない大学も入っており、教育満足度と入試難易度は必ずしも関連しないことがわかる。

上位大学の傾向を見ると、「グローバル人材の育成に力を入れていく」「入学時の学力によらず、受け入れた学生を丁寧に教育し、就業力を高めている」といった特徴と、これら2点が外部に伝わっていることが読み取れる。

前者2点の特徴がどの大学にとっても重要な施策であることはもちろんだが、それらが優れていると、広報施策が不足していると認知度が上がらない。このようなランキングを活用して教育力を可視化した広報も重要だ。

有識者に聞く。

世界に目を向ければ
高等教育の需要は増加

「全ての大学は、日本の高校生以外にも目を向けないと立ち行かない」――20年来言われ続けてきたことが、18歳人口がさらに減少する今後数年間で、現実となります。一方、海外では18歳人口が劇的に増えており、高等教育のニーズが急速に高まっています。例えば中国では、1年間に70万人超の学生が他国に進学。インドは現状24%の高等教育への進学率を、65%に引き上げるという国家目標を掲げています。

そこで、受け皿となる大学が必要とされているわけですが、アメリカ型の高等教育モデルはコストが高く、一般層には手が届きません。その点、日本の大学は比較的



多様なステークホルダーとの
コミュニケーションツールとして
世界大学ランキング日本版に期待

文部科学大臣補佐官
鈴木寛

低コストであり、認証評価によって質保証がされていることから、世界の中ではポテンシャルが高い。THE世界大学ランキング日本版は、こうしたメリットを海外に伝えるツールになるでしょう。

また、トランプ新政権により研究に制限が設けられたアメリカの教員が、アカデミックフリーダムを求めて日本に来たがっているという話も聞きます。優秀な研究者を海外から招くツールとしても、日本版を活用できるはずです。

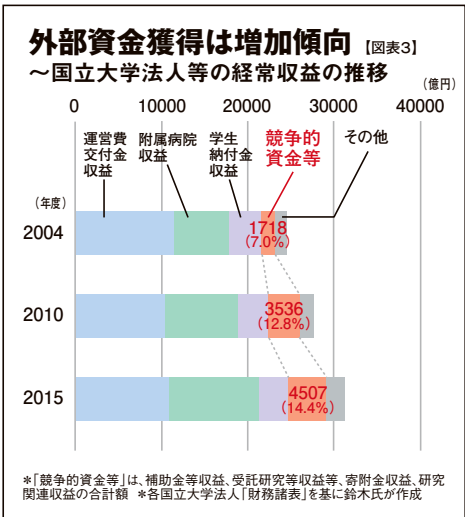
大学での学びの価値を
社会に問い直すべき

少子化が進むといえど、国にとつての高等教育の重要性は変わりません。「VUCA」の時代と言われる現在、思いもよらないチャンス

に1度は大学に戻り、2回、3回と学び直しをする社会が理想でしょう。「入学時の学力」一辺倒である評価軸や、「モラトリアム」とも言われる大学の存在意義を社会に対して問い直すときが来ているように思います。

指標として活用し
改革のPDCA強化を

文部科学省は大学の応援団として最大限の努力を続けます。しかし国家財政は危機的状況で、支援には限界があります。文部科学省以外の社会資源の利用にも積極的な目を向けていく必要があります。例えば日本経済団体連合会は、高等教育への投資を約束しています。地元企業が協力を期待する場合もあるでしょう。急成長してい



るアジアの企業も、イノベーションを支える知的、人的な需要を高めています。これら企業の大学に対するニーズは、既に競争的資金等の増加という形で現れています(図表3)。今後も継続的に企業などから資金を調達するには、彼らとのコミュニケーションが極めて重要です。それには大学業界以外の人にもアピールできるコミュニケーションツールが必要であり、日本版ランキングがその一つとなるでしょう。合意形成・説得・交渉のベースとなるエビデンスとしての活用が期待できます。

彼らとのコミュニケーションの前提としては、各大学の特色を前面に打ち出した教育・研究・社会貢献が推進されなくてはなりません。それには3つのポリシーに基づくPDCAサイクルの強化が不可欠です。特におざなりになりがちなかCHECKとACTION、すなわち、モニタリング・検証・分析による戦略の組み換え・資源の再配分に力を入れるべきでしょう。ここでランキングを、その一指標として使うことができます。

ランク、スコアに一喜一憂するのではなく、大学を客観的に見つめるための素材として活用し、真の大学改革を推し進めていただくことを願っています。

受験生が大学を多面的・総合的に
評価する時代に向けて

今回THE世界大学ランキング日本版の制作に協力したベネッセコーポレーションの責任者に、日本版の意義と今後の展望について聞いた。

(株)ベネッセ
コーポレーション
大学・社会人事業本部
統括責任者
藤井雅徳



ふじいまさのり●(株)ベネッセコーポレーション高校事業部に高校の教育改革支援や海外トップ大進学塾「Route H」開発に携わった後、現職。THE世界大学ランキングへの協力や語学・留学事業を通じて大学のグローバル化を総合的に支援。

Times Higher Education (THE) のランキングは、最も信頼できる大学ランキングだと考えています。このTHEの国別ランキングとして、アメリカに次いで世界で2番目に発表された日本版。その制作を、ベネッセグループがサポートしました。THE側に日本の教育事情を伝えるとともに、高校教員への評判調査を実施し、受験生や留学生の進路選択、大学での改革推進に役立つものをめざしてきました。

先行して発表された世界ランキング、アジアランキングでは、大学院における研究力が重視されていますが、アメリカ版、日本版は学部教育力が重視されているため、ランクイン大学の顔ぶれが異なります

(P.3参照)。例えば日本版には、世界ランキングにはランクインしていない一橋大、国際教養大、国際基督教大といった大学が見られるなど、日本の大学の特徴が表れたランキングになったと自負しています。

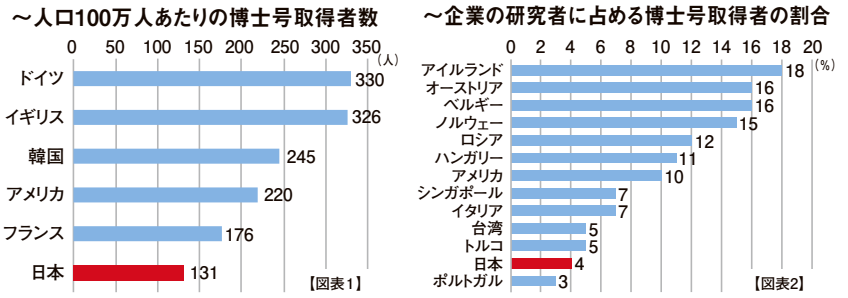
THEによって世界に公開されたこの日本版ランキングは、海外の学生には新鮮に映るのではないのでしょうか。これまで留学先として学生を引きつけてきたのはアメリカやイギリスでしたが、これら2か国の保護主義的な政策転換が高等教育に与える影響は大きいと考えられています。日本に学生招致の大きなチャンスが訪れています。

一方、国内では入試改革による多面

的・総合的評価の導入が進んでいます。日本版の指標が大学選びに使われるようになると、偏差値一辺倒の時代から、受験生側も多面的・総合的に大学を評価する時代になるのではないのでしょうか。

また、指標が多様化したことにより、「学部は教育熱心な大学に、大学院は研究熱心な大学に」というような「中身」に注目した進学先選びも可能になると思います。

知識基盤社会で必要な人材が諸外国と比べて少ない日本



※アメリカ、日本は2010年。ドイツ、イギリス、フランスは2011年。韓国は2012年
※「諸外国の教育統計」(文部科学省)を基に鈴木氏が作成
※アメリカは2008年、他は2009年 ※日本：科学技術研究調査、アメリカ：NSF、SESTAT、他：OECD Science, Technology and R&D Statisticsを基に鈴木氏が作成
※Volatility (変動)、Uncertainty (不確実)、Complexity (複雑)、Ambiguity (曖昧)の頭文字をとった造語。

すずきかん●東京大学法学部卒業後、通商産業省に入省。慶應義塾大学助教授、参議院議員、文部科学副大臣などを経て2014年2月から東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授。2015年2月から現職。

構成・文／児山雄介 撮影／御堂義乗

有識者に聞く。



留学生市場と 労働市場に与える影響

今回発表されたランキングは、「国際的な影響力を持つ外国の機関が、日本の大学について初めて本格的に調査した結果」という点にインパクトがあります。

これまで日本の大学は、日本人や日本語で学びたい留学生を固定客とした成熟市場に依拠してきました。自学の情報を海外に発信する必要がありませんでしたし、発信のための適切なメディアもなかった。そのため、海外からは日本の大学の特長はほとんど見えませんでした。それを目に見える形にしたのが、今回のランキングです。結果が世界に発信されたことで、日本への留学に関心を持っている学生、特に理工系の大学院

世界大学ランキング日本版は 良質な日本の高等教育を 国際的にアピールするチャンス

東北大学
IR室・室長

米澤彰純

よなざわあきよし●東京大学大学院教育学研究科博士課程中退、東北大学IR室長(教育学取得、東京大学助手、経済協力開発機構コンサルタント、広島大学・大学評価・学位授与機構、東北大学准教授、名古屋大学准教授を経て現職。専門は、教育社会学、高等教育、高等教育政策。質保証、パフォーマンスなどのクワロ国際比較を得意とする。)

では、配分のバランスが取れているという印象を持ちました。特に「教育リソース」は、これまでの偏差重視のランキングでは、軽視されていた部分。ここに光が当たったのはよかったです。

国際的に見ると、教育リソース、特に教育資金は最も重視されています。米国のトップクラスの私立大学は、非常に高額な学費を取っていますが、実際はそれでも資金が足りず、寄付金を集めて教育を行っています。日本でもランキングがきっかけになり、社会全体に「きちんとした高等教育を行うには、資金が必要である」という認識が進めばと考えます。

今後、このランキングに問われるのは一貫性と信頼性でしょう。この先、何を大事にしてこのランキングが作られていくのか、心配

な点でもあり、楽しみな点でもあります。T H Eはジャーナリズムですから、常に新しい世界を切り開こうとするはずですよ。

加えて、世界のグローバル化は進んでいきます。指標の項目は今後も変わっていくでしょう。評価を受ける側である大学としては、指標の分野や項目、配分が変わらないほうが戦略を立てやすいのですが、その変化は刺激として受け止めたほうがよいでしょう。

大学ランキングの最終ユーザーは学生です。学生は、「自分が入学を希望する大学で、どのような教育を行っているのか、入学するまでわからない」という弱い立場にあります。このランキングには、学生にとって有益な信頼性、公共性の高い情報を提供し続けることを期待します。



ランキングに対する 「たかが」と「されど」

大学経営に携わってきた者として、大学ランキングには「たかがランキング、されどランキング」というスタンスを取っています。

「たかが」という評価は、「既存のランキングは大学の研究力、教育力を測るものとして十分ではない」と考えるからです。T H E世界大学ランキング日本版を見ても、項目やスコアの算出方法にはまだ改善の余地があると感じました。

一方で、「されど」という認識もあります。現実として各種大学ランキングはさまざまな分野で用いられており、ブランド力もあります。国際的な影響力が強いこともあるので、大学としては無視す

ることはできません。こうした大学ランキングがなくなるとは考えられませんし、今後も、さらに多様なランキングが出てくると考えられます。

ランキングの多様化は大学にとって、「複数の観点から自学の特徴を認識できる」というメリットをもたらすことになるでしょう。とはいえ、T H E世界大学ランキングを見ると、年によって指標や算出方法に変更がありますから、大学は短期的な順位の変動に振り回されるべきではないでしょう。急激に順位の変動があった場合、指標の変更が大きく影響したと考えたほうが妥当だからです。結果に一喜一憂せず、今後の戦略を考えるうえで、自学の総合的、かつ継続的な傾向を把握するために使うのです。ベンチマークして

将来的な戦略を立てるには 多様なランキングを活用した 自学の現状分析がまず必要

早稲田大学
元国際担当副総長

内田勝一

うちだかついち●1970年早稲田大学法学部卒業、1975年同大学院法学研究科博士課程修了。1984年早稲田大学法学部教授、2004年国際教養学術院教授、国際教養学部長、副総長(国際担当を歴任。日本学術会議委員、日米研究インテリジェントプラットフォーム等を歴任。専門は民法、土地法。主著として「現代債権借家法学の課題」(債権総論)等。

いる大学と比較し、自学の強み、弱みを相対的に分析するには、こうしたランキングは有効なツールになると思います。

長期的な視野で 戦略立案を

今回、総合ランキングでトップ11に入った大学は、*RU11の大学と重なり、いずれも伝統的に社会的な評価が高い大学が多いように見受けられます。特に高校教員や企業、研究者への評判調査から算出される「教育満足度」「教育成果」の評価が高い大学が上位を占めています。日本社会の中で大学に対する主観的な評価は、短期間で変えるのは難しいと考えられます。それを5年、10年というスパンでどう変えていくのか？ 大

学経営者は、長期的な視野で将来の戦略を立てる必要があります。それには、まず現状分析こそが重要です。多様な大学ランキングの中から活用できる部分を判断し、分析に役立てるとよいでしょう。

これからの国民国家の命運は、科学技術人材の育成と、グローバル企業の育成にかかっています。前者は理工系での、後者は人文社会系での人材育成が鍵です。これには、「日本の発展のためには人材しかない」という議論を再度強調し、国民意識を改革することも大切でしょう。追い上げ激しい中国やインドなど新興国の中で、日本は今後、どのような地位を占めて、生き残っていききたいのか、その中でどのような大学、労働力が必要とされるのか？ 議論を深めることが重要です。

* 研究およびこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界の中で学術の競争を続けてきている大学のコンソーシアム。東京大学、早稲田大学など、11の大学で構成。

高校の進路指導現場に聞く！ 教育力ランキングへの期待

THE世界大学ランキング日本版が
高校の進路指導に与える影響と、
生徒の指導への活用について、
さまざまなタイプ、地域の高校の、
進路指導に携わる教員に聞いた。

スコア、ランクの裏付けが
知りたくなるランキング



静岡県立
浜松西高校・中等部
進路指導主事
河西伸之

学費に見合った大学か？
その見極めの参考になる



千葉県立
小金高校
総合学科部
椿 仁三千

ニュートラルな情報による
進路指導への転換

から相談される例がありました。
生徒の将来を考えると、ニュート
ラルで偏らない情報を教員が生徒
に提供できることが大切です。

生徒の固定観念が
揺らぐきっかけに

本校の場合、国公立大学への進
学者は45％程度で、後は多様な私
立大学に進学します。進路指導上、
偏差値は最重要指標の一つですの
で、評価指標で「大学合格者の学
力」が6％しかないことには驚き
ました。しかし、卒業生の話を聞
くと、偏差値が上の大学だから希
望の仕事に就けるわけでもない、
という実感があります。大学でや
りたいことが決まっている生徒に
とっては、偏差値以外の指標を使っ
たランキングは有用でしょう。

また、昔のイメージで大学を判
断する保護者がいないわけではあ
りません。このランキングで上位
の大学の中にも、保護者から「そ
んな大学知らない」「そこはもと
もと専門学校」と言われたと生徒

ランキングの中にはこれまで注
目していなかった大学もありま
す。偏差値ランクとは異なる順位
に違和感を覚えつつ、「なぜこの
大学より、あの大学のほうがスコ
アが高いのか？」と、スコアに反
映された実態を知りたくなります
ね。それを生徒から質問された時
答えられるように、教員がより一
層大学を研究するきっかけになれ
ばよいと思います。偏差値だけの
価値観で大学選びをしていた生徒
が、このランキングを見てグラッ
と揺らぐことがあってもよいので
はないでしょうか。

かわにし のぶゆき ●教職歴25年目。同校に赴任して10年目。「己、未だ救われざるに人を助けんと一念発起す」の思いで務める。専門教科は英語。

実績、卒業生の評判、
そして「教育力」

生徒による大学の
多面的評価を促す

前任校は進路が多様で、大学へ
の進学者は6割程度。中堅レベル
の大学に推薦・AO入試で進学す
る生徒が多かったため、偏差値を
用いた進路指導はしていませんで
した。偏差値が高い大学は入学者
の学力が高いわけですから、大学
の教育力というより、学生の質に
よるところが大きいと思います。
一方、進路が多様な高校の生徒が
進学する大学は、学ぶ意欲を高め、
育てる教育が求められます。
「400万払って学ぶ価値のある
大学かどうか？」を見極めるため、
これまで重視していたのは、進学
実績と卒業生の評判でした。そこ
に教育力の客観的なデータがあれ
ば、生徒が迷っていたとき、自信
を持って勧められそうです。

4つの評価指標のうち私が注目
したのは、「教育満足度」と「教
育成果」。このスコアが70点以上
の大学は、面倒見がよく教育力が
高いという印象です。多くの生徒
が進学していた神田外語大、千葉
工業大、麗澤大などが150位以
内にランクインしています。ほか
にも、24位の立命館アジア太平洋
大や17位の長岡技術科学大など
は、教育満足度が高いですね。
このランキングが普及すれば、
生徒は偏差値だけでなく教育力な
ども含めて多面的に大学を評価す
るようになるでしょう。生徒と対
話しながら大学の本当の姿を探っ
ていくのは手間がかかりますが、
教員はもつと大学について勉強す
る必要があると改めて感じました。

つばきやすみち ●教職歴31年。前任校では12年にわたって進路指導主事を務める。PBLなどを通じたキャリア教育に尽力。専門教科は生物。

大学全体の教育力に
価値を見出せるランキング



兵庫県立
川西緑台高校
国際委員長
大目木俊憲

教育力が高い大学は
その理由を知りたい

せん。具体的な取り組みをぜひ発
信していただきたいです。

学部の壁を越えて
大学全体の教育改革を

ランキング上位の大学は、ある
程度予想通りでしたが、その中で、
思った以上にがんばっている大学
もポツポツとあることに目が留ま
りました。広島大（12位）と神戸
大（13位）がほぼ同列など、地方
国公立大が健闘している印象を受
けます。近畿圏の私大では、立命
館大が1位なのは納得できます。
さまざまな改革に取り組み、大学
全体で教育力を上げていると感じ
ていたからです。

入学時の生徒の学力が高くな
くとも、「教育力」が高く出た大学は、
何らかの取り組みが評価された結
果でしょう。とはいえランキング
のスコアだけでは中身がわかりま

私は「ある学部だけ評価が高い
大学」は生徒に勧めません。その
学部だけの特別クラスになってし
まい、全学的なしくみになってい
ないケースが多いためです。最近
は全学部入試で合格し、結局、不
本意入学してしまう生徒もたくさ
んいます。大学全体の教育力を高
めるべきでしょう。アメリカでは、
学部同士が競い合って大学全体の
教育力を上げようとしています。
日本の大学も、学部の壁を越えて
取り組んでほしいと思います。
偏差値だけで大学を選んでしま
うと、第1志望大でなければ、自
信を持てないまま4年間を過ごす
ことになりがちです。日本版ラン
キングは生徒の人生にチャンスと
与えるランキングになってほしい
と考えます。偏差値、世界ランキ
ング、日本ランキングの3つを見
ながら、生徒に合った大学選びを
考えるのが理想です。

おおめぎとしのり ●教職歴31年。1980年代後半よりオール英語授業やALT活用に取り組む。生徒の「使える英語力」の育成と国際理解をめざし、精力的に活動中。

わが子の進路選択に与える影響は？

子どもの進路選択に影響を持つ保護者は、このランキングについて
どのような印象を持ったのか？ 発表直後の感想を紹介する。

保護者
に聞く！

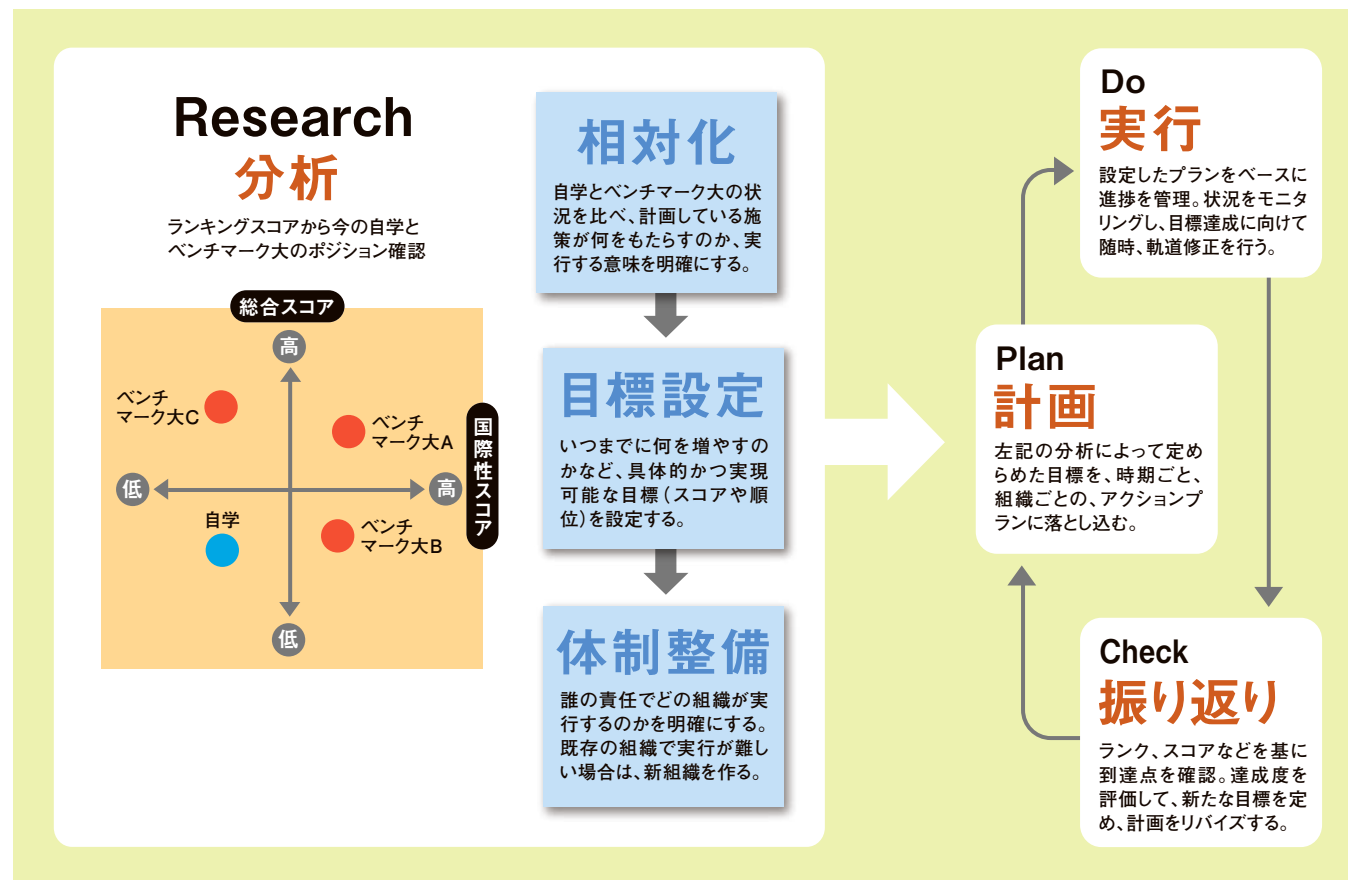
- 「教育力」を重視しているので、高校生
だけでなく、保護者、高校教員にとっても
参考になるランキングだと思いました。た
だ、「国際性」の分野は、外国人学生比
率や外国人数員比率に基づいているよう
ですが、保護者としては、教育満足度に入
っている「グローバル人材として求めら
れる能力を育成しているかどうか」が気にな
ります。（高1女子の父親）
- 4年間で400～500万の学費を投資す
るわけですから、多くの保護者は「教育満
足度」「教育成果」に注目すると思います。
その次は「国際性」でしょうか。将来的に、
「学生をどう教育し、どのように成長させて
いるのか」がわかりやすい形で提示される

- ランキングになることを期待しています。
（大学4年男子の父親）
- 息子を大学に進学させる際に重視した
のは「教育力」と「知名度」です。当時は、
教育力に関しては明確な指標がなかった
ので、比較するのが難しかったと感じました。こ
のランキングでは、教育満足度を高校教
員の評判調査から算出していますが、教
員以外の評価も入っているといいと思い
ます。また、よく同列に語られる大学群を
比較する際、各大学の強みが明確にわか
るようになっていると、より役に立つのでは
ないでしょうか。（大学1年男子の父親）
- 大学選びの視点としては、入口のレベ

- ル（偏差値）と大学で学べる内容を重視し
ます。ランキングを見たところ、「総合」「教
育満足度」「教育成果」の順位は、偏差値
順とそう変わらないという印象を持ちまし
た。このランキングを使うシーンとしては、2
つの大学で1つに絞り切れない場合など
に、検討材料の1つとして参考にするこ
とでしょうか。（中3女子の父親）
- こういうランキングがあること自体、知り
ませんでした。将来のことを考えると、偏
差値以外の評価軸があることはよいことだ
と思います。それが、保護者や高校生に
とってわかりやすい形だと、なおよいのでは
ないでしょうか。（高3女子・中2男子の母
親）

*Between編集部調べ

改革指標としてランキングを活用するためのR-PDCサイクル



改革指標として

日本版ランキングを活用するためのポイント

**偏差値とは異なる
大学選びの新しい基準**

昨年9月に発表されたTHE世界大学ランキングは、研究力を重視しているため、国立大や、総合大、理工系大のランキングがめだちました。それに対して教育力を重視した日本版ランキングでは、私立大、単科大や、人文社会系の大学も多数ランクインしています。

また、入試難易度とは異なる視点で大学を評価している点は、社会環境や構造の変化に伴い、求められる人材像や能力が変わりつつある今、高校生が、自分に合う大学、成長できる大学を選ぶうえでの際の指標になり得るのではないのでしょうか。

実際、高校教員からは、「生徒を伸ばしてくれる大学はどこか？」という質問が絶えません。今回行った高校教員の評判調査では、全国の高校の約半数から回答を得ることができました。大学の

教育力の「見える化」に対する期待の大きさを感じます。

**複数の指標を組み合わせて
ポジションを確認する**

今回発表されているのは総合ランキングと分野別ランキングですが、これらを組み合わせると新たな見方ができます。

例えば「教育リソース」は、教育力のポテンシャルを示す指標ですが、これだけでは実際の教育に反映されているかどうかはわかりません。「教育満足度」や「教育成果」と併せて見てみるとどう

指標を組み合わせる、
教育のパフォーマンス

(教育満足度 + 教育成果)

教育リソース

||

教育伸長度

しょうか(上段左の図表)。「教育リソース」が高い割に「教育満足度」や「教育成果」のスコアが低ければ、「リソースを生かし切れていない」「パフォーマンスが悪い」という見方もできます。逆に、「教育リソース」のスコアが低くても、「教育満足度」や「教育成果」のスコアが高ければ、「学生をよく伸ばしている」と言えます。

また、「国際性」は、総合順位がランク外の大学も高スコアを獲得している特徴的な分野です。「国際性」と総合順位スコアを併せて見ると、その大学の特徴がわかります。このように、総合順位や各分野の結果を複合的に分析すると、各大学のポジションがより鮮明に見えてきます。

**優れた教育力を
世界に発信できるメディア**

今回、総合順位150位以内にランクインした大学は、教育力においては、国内では上位であると

評価されたことになります。これまでステークホルダーに伝えにくかったその教育力を、客観的に伝える手段として日本版ランキングを活用することができると思いいます。

また、THEの日本版ランキングは、日本国内だけでなく世界に向けても情報発信されています。この点は、他の大学ランキングとは大きく異なる点です。THEの世界大学ランキングサイトにアクセスすると、ランキングページのめだつ位置に、「Japan University Rankings」の表示があります。外国人の留学希望者が留学先として日本の大学を選ぶ可能性も高まることでしょう。

他にも、海外の研究者の招致や海外の大学との提携の際にも、日本版ランキングの情報が活用されるのではないのでしょうか。

THEの世界版ランキングには、日本の大学が69校ランクインしており、非英語圏では最多です。このことは日本の大学全体のレベルが世界的に見ても高いことを示しています。

世界に日本の大学のよさをもっと伝えることができれば、世界中の日本の大学のプレゼンスはさらに高まるのではないのでしょうか。今回の日本版ランキングは世



(株)進研アド
グローバル企画室 室長

横山 俊介

よこやましゅんすけ(株)ベネッセコーポレーション高校事業部を経て現職。THE世界大学ランキング分析、留学促進施策研究、英語力向上プログラム開発など、大学のグローバル化を総合的に支援。

**英語版
公式サイト**

**日本語版
公式サイト**

改革の根拠となる エビデンスとして活用

日本版ランキングの順位やスコアは、大学改革のKPI(重要業績評価指標)としても有用です。改革を成功させるための鍵は、目標の妥当性や実現可能性を共有するための「分析」にあると言えます。分析を進めていく際の流れを、上の図にまとめてみました。

Researchをすることによって、改革を実行する意味、具体的な目標、実行体制を明確にしておけば、学内でPDCのサイクルがスムーズに回りやすくなります。さらに、めざすポジションにある大学と順位やスコアを比較することにより、「あとどれだけ伸ばせばいいか」を、根拠を持って示すことができます。

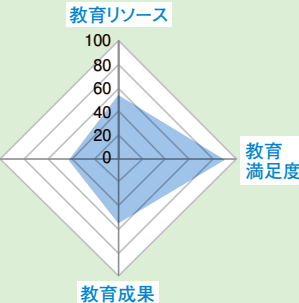
大学ランキングは、3つのポリシーに基づく大学改革を進める際のエビデンスとして活用してこそ、その真価を発揮します。特に今回の日本版ランキングは、教育力と国際性の視点から、特色強化、弱点補強、認知度向上に役立ててほしいと思います。

Case Study

山形大学

高い教育満足度は教学改革の成果 ステークホルダーとの関係強化を図る

学士課程教育の再編が「教育満足度」に影響



学生数／8895人
学 部／人文社会科学、地域教育文化、理、医、工、農
大学院／社会文化システム、地域教育文化、医学系、理工学、有機材料システム、農学、教育実践
●THE世界大学ランキング2016-17／601-800位
●THEアジア大学ランキング2017／191-200位

指標	スコア	ランキング	参考データ
総合	60.7	43位	ST比率／10.5
教育リソース	56.0	75位	留学生の割合／1.3%
教育満足度	88.3	37位	男女比／34:66
教育成果	55.5	78位	
国際性	<42.7	—	

担当部署／企画部

*「<」：未満を表す

今回のランキングで本学は、「国際性」が低く、「教育満足度」が高いという結果が出ました。総合順位を含め、外部からの評価として冷静に受け止めています。

「国際性」のスコアについては、東北エリアの国立大としては平均的なレベルでしょう。以前から外国人留学生を増やす努力はしており、マレーシアやインドネシアからの留学生は増えています。中国人留学生が減っているため、全体としての数は伸びていません。しかし、山形県は電気電子工業、機械工業が盛んで、県内企業がベトナムやタイに進出するなど、グローバル人材育成に対する地元からのニーズが高いので、今後も「国際性」を高める努力を続けたいと考えています。

一方で、高校教員への評判調査から算出される「教育満足度」は、高く評価されています。本学は2010年度から学士課程教育を

見直し、教養教育を全学部共通の「基盤教育」として再構築しています。「基盤教育」では、「導入科目（大学で学ぶためのツールや社会人としての常識を学ぶ科目群）」、「基幹科目（人間」と「共生」をテーマに学問的志向性を育む科目群）」、「共通科目（コミュニケーション・スキルやキャリア観などを修得する科目群）」などを配し、学生の実践力や社会人基礎力を高める教育に力を入れています。また、「導入科目」のテキストは本学が独自に制作しており、その内容は学内外から高い評価を得ました。こうした取り組みが、高校教員からの評価につながったのではないかと考えます。

このような本学での学びや研究の特長を知ってもらうためには、ステークホルダーへの情報発信も重要です。そこで「年間500校」を目標に掲げ、東北6県と新潟、

高校教員、保護者との関係構築を推進

このような本学での学びや研究の特長を知ってもらうためには、ステークホルダーへの情報発信も重要です。そこで「年間500校」を目標に掲げ、東北6県と新潟、

栃木、茨城などの高校訪問を強化するほか、県内の高校に協力を呼びかけ、保護者が集まる進路講演会に参加しています。進路選択に影響力を持つ保護者に「大学での学びは、社会でどう役立つのか」を理解してもらうことが、伸び悩んでいる県内の国立大進学者数の改善に役立つと考えています。

本学の基本理念の一つに、「不
断の自己改革」があります。PDCAを回しながら改革を進めていきますが、その成果は長いスパンで出てくるはず。ランキングに使われた指標が普遍的なものとは考えていません。そもそも指標は社会のニーズに合わせて変わっていくべきでしょう。ランキングは大学関係者のみを使うのではなく、小学生から高校生、そして保護者も「人生のプロセスとしての大学選び」に活用するものになることが理想です。



学長
小山清人

こやまきよひと ●1949年秋山県生まれ。1972年山形大学工学部卒業。1974年同大学大学院工学研究科修士課程修了。1974年山形大学工学部助手。1992年同大学工学部教授。工学部長、理事、副学長を歴任し、2014年より現職。工学博士。

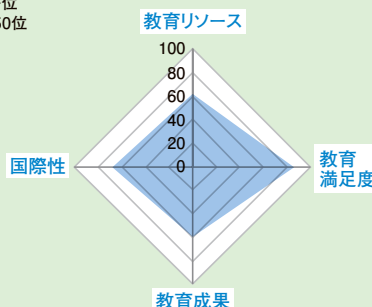
長岡技術科学大学

海外ネットワーク戦略を軸に
教育成果、国際性の向上を狙う

学生数／2391人
学 部／工
大学院／工学
●THE世界大学ランキング2016-17／801+位
●THEアジア大学ランキング2017／201-250位

指標	スコア	ランキング	参考データ
総合	69.8	17位	ST比率／11.0
教育リソース	63.5	47位	
教育満足度	86.9	42位	留学生の割合／11.5%
教育成果	59.6	34位	
国際性	69.6	25位	女男比／10:90

担当部署／IR推進室

高卒入学者は少数も
高校教員から高評価

本学では2016年にIR部門を設置し、エビデンスに基づく改革を行っており、THEのランキングもその一つとして活用しています。日本版のスコアを見ると、「教育満足度」が比較的高い点が意外でした。本学の学生の多くは3年次から編入している高専卒業生なので、高校教員から評価を得られるとは考えていなかったからです。高専卒業生に対しては一般教養を補うため、修士課程に至るまでリベラルアーツ科目を提供。一方、1年次からの入学生と高専卒業生の知識の差を埋めるため、1、2年次にも専門科目を配しています。このように、専門と教養の両面を全学年で学べるのが、評価された理由の一つかもしれません。高い教育満足度のもう一つの大きな要因は、大学院進学者全員を対象とした4年次の「実務訓練」でしょう。学生は、国内外の企業等における5〜6か月間のイン

外部資金獲得施策として
企業の海外進出を支援

ターニングポイント（うち海外は約15%）を通して、社会で求められる知識や能力を実感し、大学での学びに対する意欲を高めます。その成果は、就職率や企業評価の高さ、離職率の低さなどにあらわれています。それだけに、「教育成果」のスコアは低く感じられました。研究者による評判調査の比重の方が大きいことが要因かもしれません。今後のスコア向上が望める分野は「国際性」と「教育リソース」です。大規模大学で「国際性」を強化するには時間が必要かと思いますが、本学のような単科大学では、施策が成果に直結します。学部教育の前半を現地の大学で、後半を本学で過ごし、修了者に両大学の学位を授与する「ツイニング・プログラム」が海外の学生に好評を得ており、留学生の割合は15%を超えようとしています。「教育リソース」については、

外部資金の獲得に、教職員が総力を挙げて臨んでいます。「GIGA AKUテクノパークネットワーク」はその一つ。本学ではメキシコ、ベトナム等世界6か国の大学にオフィスを設置し、現地の大学や企業と共同研究を行っています。ここに日本の企業にも入ってもらい、現地における販路の開拓、人材育成・供給、情報提供などに協力するかわりに、資金を提供してもらいます。参加企業はこれから確実に増える見通しです。

海外とのネットワークが充実すれば、「国際性」はもちろん、教育や研究にも好影響をもたらし、各分野のスコア、そしてランキングも必ず上がるはず。今後も努力を続け、このようなランキングを通じて、地方単科大学も、大都市圏の大規模大学にも負けない教育をしているということ年全国にアピールしていきたいですね。



理事・副学長
鎌土重晴

かまとしげはる●1980年、豊橋技術科学大学工学部卒業。1982年、同大学大学院工学研究科修士課程修了。津山工業高等専門学校講師などを経て、1991年から長岡技術科学大学。2004年、同大学教授に。2015年から現職。ハルビン理工大学、重慶大学などの客座教授も兼任。専門は材料組織学。

Case Study

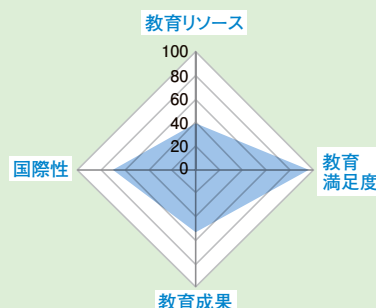
神田外語大学

Kanda University of International Studies

これまでの努力の成果を数字で確認
教育成果のさらなる向上を図る

偏差値序列によらない
大学評価の誕生に好感

自立学習者を育成する
学習環境づくり



学生数／3777人
学 部／外国語
大学院／言語科学
●THE世界大学ランキング2016-17／—
●THEアジア大学ランキング2017／—

指標	スコア	ランキング	参考データ
総合	60.1	46位	ST比率／17.1
教育リソース	<39.9	—	
教育満足度	94.0	27位	留学生の割合／2.5%
教育成果	52.9	98位	
国際性	71.9	19位	女男比／—

担当部署／広報部

*「<」：未満を表す

従来、国内で使われてきた大学ランキングは、入学偏差値の序列に沿ったものがほとんどだったため、今回、私立大学の中で本学が11位にランクインしたことに率直に驚いています。同時に、「教育満足度」での高い評価は、学生を4年間でしつかり育てて送り出すという本学の教育方針が、高校現場に伝わっていることを示しており、そのことをうれしく思っています。

本学は今年で開学30年を迎えますが、授業料は全て学生の教育に還元するという方針のもと、学習環境の充実に、特に力を入れてきました。外国語の習得には地道な努力が必要です。その努力を全力でサポートすることが本学の務めであると考えています。今回、これまで取り組んできたことへの評価が、数字となって目に見える形で確認できたことは、本学にとって励みになるものです。

外国語習得は4年間で完結するものではなく、一生継続ものです。そこで本学では、語学教育を通して、自ら学び続ける「自立学習」の姿勢を育むことに力を注ぎ、学生の主体的な学びを支援する学習施設を数多く整えています。

たとえば、今年度オープンした8号館には、自立学習スペース* S A L C（サルック）のほかに、グループ学習やミーティングスペース、語学の専門教員から直接指導を受けられるスペースなどがあり、さまざまな学びに対応しています。

また、多言語コミュニケーションセンター* M U L C（マルク）には、7つの言語エリアを設け、それぞれの国や地域の伝統的な建造物を室内に設置しています。その言語を学ぶ学生、その言語を母語とする教員、留学生が常に集い、語り合える場所となっており、「疑似留学体験」が可能な環境となっています。



学長
酒井邦弥

さかいくにや ● 1968年東京外国語大学ドイツ語学科を卒業
後、銀行員として銀行に入行。1999年第1期銀行勤務
取締役就任。2000年みずほホールディングス取締役副社長。
東京外国語大学理事を経て、2010年より現職。

ています。

さらに、モチベーションアップのため、スピーチやプレゼンテーションなどの各種コンテストへの参加機会を多数用意しています。

今後は、就職したことで終わりとしめない、自己実現をめざすキャリア教育にさらに力を入れていきたいと考えています。これからの労働市場は、今よりもっと自由で流動性の高いものになっていくでしょう。そのため、「語学力+自立学習力」を軸に、変化に対応しながら、自分でキャリアを積み上げていける人材の育成が必要だと考えています。

このような社会の変化にあわせて、大学選びではコストパフォーマンスがより重視されるようになるでしょう。教育成果をさらに高めるという視点で、学内の取り組みは随時見直す必要があると思います。

取材・文／仲谷宏 撮影／坂井公秋

*SALCはSelf-Access Learning Center、MULCはMultilingual Communication Centerの略。

成蹊大学

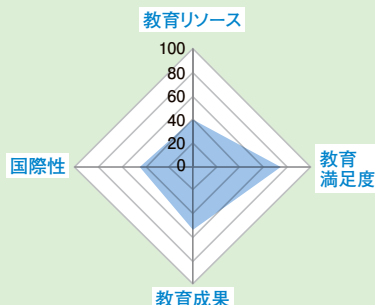
全学規模でのコラボ教育を推進し
教育力向上につなげる

学生数／7802人
学 部／経済、法、文、理工
大学院／経済経営、法学政治学、文学、理工学、法務
●THE世界大学ランキング2016-17／－
●THEアジア大学ランキング2017／－

指標	スコア	ランキング	参考データ
総合	52.0	83位	ST比率／32.0
教育リソース	39.9	141-150位	
教育満足度	75.8	65位	留学生の割合／0.3%
教育成果	56.0	67位	
国際性	<42.7	－	女男比／－

担当部署／企画運営部調査企画課

*「<」：未満を表す

社会変化に対応すべく
大きな改革に着手

今回のランキング結果で評価が高かった点、低かった点は素直に受け止め、個別に改善を検討するきっかけにしたいと思います。

総合順位を見ると、理系の大学が高い評価を受けている印象です。本学にも理工学部があります。本学にも「教育リソース」のスコアがそれほど高くありませんでした。理工学部のプレゼンスを上げる方策の検討が必要でしょう。加えて、「国際性」のスコアが低いことから、全学的なグローバル化も重要な課題だと考えます。

社会はこれまで以上に速いスピードで進展しており、大学も社会に対応していく必要があります。本学は約半世紀にわたって基本的な学部構成を変えていませんでしたが、2019年をめどに大きな改革を始める予定です。近年は、文理融合型の教育が注目されていますが、そうした教育は全学で展開されるべきでしょう。そこで、

新たな教育制度の導入を計画しています。具体的な計画と議論はまだ続いているところですが、方向性としては、所属学部の異なる教員集団がチームティーチングで指導する共同ゼミのような形を想定しています。

扱うテーマとしては、①高度IT社会と人類の共栄、②持続可能な社会の構築、③人口減少社会における社会システムの構築、④世界の安定と平和などの4分野で、これらは本学が社会的責任を果たしていく分野でもあります。一部の学部のみで行わず、全学で多様な学生と多様な教員集団が議論を重ねていくことによって、大学全体をまるで一学部のようにするようなフレームづくりを考えています。

コラボ教育をめざし
新たな教育方法を模索

チームティーチングを円滑に進めるには、教員間の密接な交流が必要です。そのためにも、15回の

授業の何回かを他学部の教員が担当する制度を導入し、チームティーチングの土台を固めていくつもりです。

eラーニングなどのオンライン教材をはじめとしたICTの充実も必要でしょう。オンライン教材での予習と議論と対話で構成する反転授業により、教育効果の向上が期待できるからです。

この改革でめざすものは、圧倒的なコラボ教育です。実現できれば、大学全体の教育の質向上が期待できますし、海外に向けたアピールにもつながるでしょう。これを推進することが結果的に各種ランキングのスコアに反映されるのではないかと考えます。



学長
北川 浩

きたがわひろし ●1960年山口県生まれ。1984年橋本大学経済学部卒業。1989年同大学大学院経済学研究科修士後期課程単位取得満期退学後、同年成蹊大学経済学部専任講師に就任。助教を経て1999年同学部教授。学長補佐、経済学部長などを歴任し、2016年より現職。

Case Study

Kindai University

近畿大学

次のチャレンジに必要なものは何か
ランキングはそれを見極める判断材料

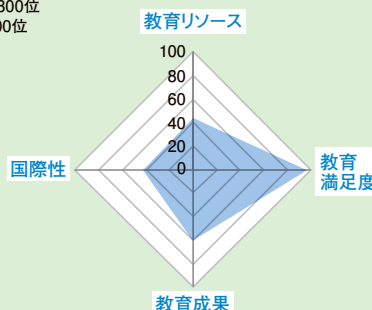


学生数／32512人
学部／法、経済、経営、理工、建築、薬、文芸、総合社会、国際、農、医、生物理工、工、産業理工、短期大
大学院／法学、商学、経済学、総合理工学、薬学、総合文化、農学、医学、生物理工学、システム工学、産業理工学
●THE世界大学ランキング2016-17／601-800位
●THEアジア大学ランキング2017／191-200位

指標	スコア	ランキング	参考データ
総合	58.2	54位	ST比率／18.4
教育リソース	43.4	121-130位	
教育満足度	95.3	23位	留学生の割合／0.9%
教育成果	59.5	37位	
国際性	<42.7	—	女男比／29:71

担当部署／総務部広報室、インターナショナルセンター

*「<」：未滿を表す



国際学部をけん引役に グローバル化を図る

本学は、T H Eの世界版ランキングでは研究力が評価され、601・800位にランクインしました。教育力を評価する日本版の結果は、「教育満足度」は高い一方で、「国際性」についてはまだこれから、という評価でした。「教育満足度」の高さは、教職協働で高校教員とのコミュニケーションを強化してきた結果でしょう。「近大では進学した生徒を伸ばす、質の高い教育が受けられる」という、高校からの信頼の表れだと自負しています。

スコアの低い「国際性」は、外国人教員比率などが指標となっていますが、外国人を増やすことだけが国際化ではないと考えています。教員は、日本人であっても海外経験があり、国際的な視点と教養を教えられる素養を持ち、かつ英語で授業ができれば、積極的に採用する方針です。

私費留学生の獲得も課題です。

交換留学生を増やすために、海外大との連携協定締結を進めています。

大との連携協定締結を進めています。国際化はシステムづくりが大切。本学の200校近い協定校は約40の国・地域にわたりますが、今後とも拡大を進め、多様化を図ります。英米とは異なる英語を話す国々とも交流する中で、さまざまな価値観に触れ、グローバルな観点、素養を養うしくみを整えます。

本学のように大規模な私大では、一挙にグローバル化を図ることは困難なものです。そこで、国際化のけん引役として昨年国際学部を新設しました。一学年500人のこの学部では、1年間の海外留学が必須です。これにより4年後には英語による授業に対応できる学生が約2000人いることとなります。彼らに帰国後も授業の多くを英語で行うカリキュラムを提供し、全学に普及させます。

自学のステージに適した 改革のための指標として

指標のスコアを分析し、改善に

つなげる際は、大学の状況に合った方策を取るべきだと考えます。グローバル化が進んだ段階の大学であれば、国際性を上げるのに外国人教員を増やす方策も有効でしょう。本学では国際学部の設置や協定校の拡充などによって海外留学を奨励するしくみをつくり、多くの学生に海外での経験を積ませる取り組みを進めています。

自己点検評価も重要です。中期プラン、アクション・プランに対する大学全体の自己点検を、自己点検・評価委員会が行うほか、学部単位でも点検しています。今回のランキング結果も自己点検の指標の一つとして活用します。

本学の教学改革はまだ進行中。国際化、カリキュラム改革をはじめ、文理融合の教育など、これら改革が進んでいけば、自ずと教育力の評価も上がっていくでしょう。



副学長
細井美彦

ほそいよひこ ●1979年京都大学農学部卒業。1987年同大学大学院農学研究科博士課程修了。1993年近畿大学物理工学部助教授。1997年近畿大学物理工学部教授。2002年同大学物理工学部教授。2010年近畿大学先端技術総合研究所長、生物理工学部長。2014年より現職。

立命館アジア太平洋大学

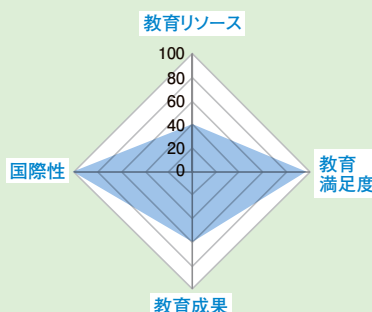
世界に目を向けた教育の質保証に
ランキングを有効活用していく

学生数／5848人
学 部／アジア太平洋、国際経営
大学院／アジア太平洋、経営管理
●THE世界大学ランキング2016-17／－
●THEアジア大学ランキング2017／－

指標	スコア	ランキング	参考データ
総合	65.4	24位	ST比率／33.1
教育リソース	<39.9	－	
教育満足度	96.1	20位	留学生の割合／46.5%
教育成果	59.3	39位	
国際性	100.0	1位	女男比／－

担当部署／学長室

*「<」：未満を表す

ランキングがもたらす
国際的な質保証の波

教育の質保証という面で、日本の大学はガラパゴス化しています。世界に向けて教育の質を情報発信する、今回の日本版のようなランキングは、いわば「黒船」。

どれだけ早く開国し、海外と対等に渡り合えるようになるかが、今まさに問われています。その意味では、表面上のスコアを指標とするだけでなく、質を問うことが重要になります。

本学の学生の約半数は留学生で、90の国・地域から国籍に偏りなく集まっています。教員の約半数も外国籍です。質量ともに多様性のある環境が「国際性」で1位という結果につながりましたが、この環境を学びに還元できれば看板倒れです。そこで、日本人と留学生が学び合う「多文化協働学習」を授業で100%実施することに取り組みんでいます。また、米国ミネソタ大学と連携し、教員向けに文化が異なる学生集団への効果的

なアクティブ・ラーニングの指導法を研修しています。

教室外の活動を中心とした非認知能力の育成も、本学ならではの教育です。APハウス（国際教育学生寮）での共同生活や、入学して2か月後に1年生約160名が韓国でフィールドワークを行う「FIRSTプログラム」、各国の学生が他国の学生と共に、自国の文化を披露するイベント「マルチカルチュラル・ウィーク」など、多国籍な学生が混ざり、主体的、協働的に活動する機会を数多く設けています。

これらは教育理論に基づいて実施し、ルーブリック（指標）を用いて評価し、教育効果を測定することで学びの質を確認しています。それをまた教授法に還元させ、教育の質向上につなげています。

国内の順位に満足せず
あくまで視野は世界に

国際競争力を高めるためには、世界の大学の水準を見据えて、教

育の質保証に取り組み、その成果を世界に向けて情報発信することが重要です。したがって世界に向けて発表された日本の大学ランキングを活用することや、国際認証の取得に取り組むことは、本学にとって必然的なことなのです。

国際経営学部と経営管理研究科は2016年、世界トップクラスのビジネススクールであることを示すAACSBを取得しました。AACSBの取得は日本では3校目ですが、中国、台湾は20校以上、韓国も10校以上が取得しており、アジアの中でさえ先進校ではありません。

自学の強み・弱みを分析し、改善に取り組み、より力をつけていくために、今回のランキングを活用していきます。そのためにも、THEには指標の改良に取り組み、ランキングの信頼性を高めてもらいたいと思います。



副学長
吉松秀孝

よしまつ ひでたか ●1983年九州大学法学部卒業。1992年ウオリントン大学国際関係研究科にて修士号取得。1996年オーストラリア国立アジア太平洋研究所にて博士号（国際関係学）取得。山口大学大学院東アジア研究科を経て、2004年から現大学、学校法人立命館理事、教務部長。

* Times Higher Education が2017年3月30日に公表した情報に基づいています * 1～100位は個別に順位がつきます。101位以下は150位まで各10校程度を同順位としています
* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名をアルファベット順に掲載しています * =：同順位の大学あり／－：各分野の順位が151位以下のためスコア非表示／NR：ランキングしていない
* 世界2016-17：World University Rankings 2016-17(2016年9月発表)／アジア2017：Asia University Rankings 2017(2017年3月発表)を示しています



順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育満足度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2016-17 順位	アジア2017 順位
1	国	東京大学	東京都	87.8	99.8	97.1	61.0	88.5	39	7
2	国	東北大学	宮城県	83.6	99.7	96.8	64.8	87.4	201-250	26
3	国	京都大学	京都府	84.2	99.7	97.0	59.2	86.8	=91	14
=4	国	名古屋大学	愛知県	80.1	98.4	96.2	68.9	86.3	301-350	35
=4	国	東京工業大学	東京都	82.2	98.8	96.0	63.7	86.3	251-300	30
6	国	大阪大学	大阪府	80.4	99.0	97.0	64.9	86.1	251-300	32
7	国	九州大学	福岡県	79.1	98.7	95.3	64.4	85.1	351-400	45
8	国	北海道大学	北海道	75.5	98.2	95.6	59.1	82.8	401-500	58
9	国	筑波大学	茨城県	72.2	99.1	86.4	70.1	81.7	401-500	=56
10	私	早稲田大学	東京都	52.9	99.5	91.2	72.9	75.9	601-800	131-140
11	私	慶應義塾大学	東京都	60.7	99.4	96.5	45.0	75.4	601-800	111-120
12	国	広島大学	広島県	66.7	97.6	76.2	57.5	75.2	501-600	101-110
13	国	神戸大学	兵庫県	65.8	94.0	83.2	52.4	74.4	601-800	131-140
14	国	一橋大学	東京都	49.2	97.8	87.1	67.9	72.4	NR	NR
15	私	国際基督教大学	東京都	52.2	98.7	64.5	83.9	71.8	NR	NR
16	国	千葉大学	千葉県	64.5	96.0	67.0	47.9	70.6	601-800	111-120
17	国	長岡技術科学大学	新潟県	63.5	98.9	59.6	69.6	69.8	801+	201-250
18	私	上智大学	東京都	42.9	98.6	64.9	88.8	69.1	801+	251+
19	国	金沢大学	石川県	67.0	93.7	60.2	-	68.6	601-800	111-120
20	公	国際教養大学	秋田県	45.6	99.9	63.6	74.4	67.9	NR	NR
21	国	岡山大学	岡山県	63.6	92.4	62.8	43.3	67.7	601-800	141-150
22	私	立命館大学	京都府	49.2	97.0	65.7	65.4	67.5	801+	251+
23	公	会津大学	福島県	60.3	87.4	42.8	75.8	66.3	NR	NR
=24	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	-	96.1	59.3	100.0	65.4	NR	NR
=24	公	首都大学東京	東京都	60.7	84.6	64.1	47.0	65.4	401-500	69
26	国	熊本大学	熊本県	66.1	82.6	61.1	-	65.3	601-800	141-150
27	国	東京外国語大学	東京都	-	95.7	54.5	87.5	64.9	NR	NR
=28	国	九州工業大学	福岡県	55.4	87.4	60.0	51.8	64.1	801+	201-250
=28	国	長崎大学	長崎県	63.9	80.8	55.9	47.4	64.1	601-800	201-250
30	国	新潟大学	新潟県	61.3	87.1	60.4	-	64.0	601-800	201-250
=31	国	東京農工大学	東京都	67.6	67.3	63.1	47.9	63.5	601-800	131-140
=31	私	東京理科大学	東京都	51.5	94.4	68.1	-	63.5	601-800	151-160
33	国	横浜国立大学	神奈川県	52.6	84.7	62.5	55.2	63.4	801+	201-250
34	私	明治大学	東京都	45.1	98.3	59.6	54.0	63.3	801+	251+

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育満足度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2016-17 順位	アジア2017 順位
35	私	同志社大学	京都府	43.2	97.5	60.9	57.8	63.2	801+	251+
36	国	東京海洋大学	東京都	60.6	75.2	59.9	52.4	63.0	801+	201-250
37	国	豊橋技術科学大学	愛知県	70.4	62.2	55.6	53.3	62.6	601-800	171-180
38	国	東京医科歯科大学	東京都	87.9	51.2	37.0	51.3	62.3	401-500	51
39	国	お茶の水女子大学	東京都	62.2	80.2	45.2	52.0	61.9	NR	NR
40	私	関西学院大学	兵庫県	-	94.9	59.2	63.2	61.5	801+	251+
41	国	山口大学	山口県	55.3	84.3	57.6	-	61.2	801+	201-250
42	国	福井大学	福井県	67.5	71.3	52.9	-	60.8	NR	NR
=43	国	電気通信大学	東京都	61.6	69.3	53.9	53.0	60.7	NR	NR
=43	国	山形大学	山形県	56.0	88.3	55.5	-	60.7	601-800	191-200
45	国	信州大学	長野県	60.0	77.1	56.4	-	60.3	601-800	181-190
46	私	神田外国語大学	千葉県	-	94.0	52.9	71.9	60.1	NR	NR
47	公	大阪市立大学	大阪府	64.4	65.9	59.8	-	60.0	601-800	121-130
48	公	福岡女子大学	福岡県	48.6	73.6	42.7	85.7	59.8	NR	NR
49	国	埼玉大学	埼玉県	51.3	73.6	57.0	60.2	59.7	801+	201-250
50	私	青山学院大学	東京都	42.0	94.7	56.8	47.3	59.5	NR	NR
51	国	群馬大学	群馬県	64.6	69.9	53.9	-	59.3	801+	201-250
52	公	横浜国立大学	神奈川県	67.6	65.4	54.1	-	59.0	601-800	151-160
53	国	宇都宮大学	栃木県	51.7	78.5	56.0	45.0	58.5	801+	251+
54	私	近畿大学	大阪府	43.4	95.3	59.5	-	58.2	601-800	191-200
=55	私	中央大学	東京都	41.8	89.5	58.0	43.1	57.7	801+	201-250
=55	私	南山大学	愛知県	-	90.7	56.3	66.6	57.7	NR	NR
57	私	関西大学	大阪府	42.8	90.5	57.6	-	57.4	801+	251+
=58	公	秋田県立大学	秋田県	59.7	67.7	50.2	42.8	57.2	NR	NR
=58	私	芝浦工業大学	東京都	49.1	84.0	57.2	-	57.2	801+	251+
=60	国	京都工芸繊維大学	京都府	58.3	61.9	57.8	45.0	57.0	NR	NR
=60	公	名古屋工業大学	愛知県	59.5	57.1	58.2	49.3	57.0	601-800	181-190
62	公	北九州市立大学	福岡県	-	86.8	58.1	63.1	56.8	NR	NR
63	国	佐賀大学	佐賀県	58.4	66.2	55.5	-	56.4	NR	NR
=64	国	愛媛大学	愛媛県	57.1	64.4	56.6	-	56.1	601-800	111-120
=64	国	富山大学	富山県	55.7	65.7	56.8	-	56.1	801+	201-250
66	国	岩手大学	岩手県	56.4	67.9	53.7	-	55.9	801+	251+
67	私	日本大学	東京都	-	92.7	58.9	-	55.8	NR	NR
=68	国	秋田大学	秋田県	59.1	57.5	55.1	45.5	55.7	NR	NR

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育満足度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2016-17 順位	アジア2017 順位
=68	私	学習院大学	東京都	45.3	80.9	56.3	-	55.7	NR	NR
=68	私	金沢工業大学	石川県	-	90.4	64.8	-	55.7	NR	NR
71	国	静岡大学	静岡県	50.2	68.3	56.0	44.8	55.6	801+	201-250
=72	国	岐阜大学	岐阜県	62.5	52.7	57.2	-	55.5	801+	201-250
=72	国	茨城大学	茨城県	45.5	78.8	56.2	-	55.5	NR	NR
74	国	鹿児島大学	鹿児島県	55.8	63.0	59.4	-	55.1	NR	NR
75	国	徳島大学	徳島県	66.2	50.5	53.6	-	55.0	601-800	151-160
=76	私	東洋大学	東京都	-	93.1	55.8	45.4	53.7	NR	NR
=76	私	豊田工業大学	愛知県	81.2	-	-	-	53.7	351-400	40
78	公	大阪府立大学	大阪府	63.8	-	59.8	-	53.3	801+	201-250
79	私	東京農業大学	東京都	41.5	80.3	57.0	-	53.2	NR	NR
=80	国	高知大学	高知県	59.7	53.0	52.4	-	52.5	601-800	131-140
=80	私	龍谷大学	京都府	-	86.1	56.2	43.9	52.5	NR	NR
82	公	兵庫県立大学	兵庫県	51.8	59.4	56.4	-	52.1	NR	NR
83	私	成蹊大学	東京都	39.9	75.8	56.0	-	52.0	NR	NR
84	国	鳥取大学	鳥取県	59.7	50.5	53.5	-	51.9	801+	251+
85	私	東海大学	神奈川県	-	72.0	59.6	-	51.7	801+	201-250
=86	国	三重大学	三重県	58.7	49.4	54.1	-	51.5	NR	NR
=86	国	山梨大学	山梨県	67.2	-	53.7	-	51.5	601-800	201-250
88	私	京都産業大学	京都府	-	69.2	55.9	55.7	50.8	NR	NR
=89	私	神奈川大学	神奈川県	-	78.3	56.1	45.1	50.5	NR	NR
=89	私	関西外国語大学	大阪府	-	76.3	52.2	65.4	50.5	NR	NR
91	私	北里大学	神奈川県	60.4	-	53.8	-	49.7	NR	NR
92	国	浜松医科大学	静岡県	82.8	-	-	-	49.2	NR	NR
=93	国	大分大学	大分県	55.1	49.2	51.6	-	48.9	801+	251+
=93	国	鳥根大学	福島県	56.0	-	52.5	-	48.9	801+	251+
95	国	福島大学	福島県	40.8	65.1	52.4	-	48.8	NR	NR
96	私	名城大学	愛知県	-	68.8	55.4	-	48.7	NR	NR
=97	国	香川大学	香川県	56.4	59.0	28.3	-	48.6	NR	NR
=97	私	名古屋学院大学	福岡県	-	86.0	31.6	55.5	48.6	NR	NR
=99	私	名古屋市立大学	愛知県	68.0	-	-	-	48.1	601-800	141-150
=99	公	玉川大学	東京都	-	66.2	53.0	-	48.1	NR	NR
101-110	公	愛知県立大学	愛知県	40.3	68.8	28.4	48.3	46.5-480	NR	NR
	私	明治学院大学	東京都	-	84.6	31.7	48.6	46.5-480	NR	NR
	国	宮崎大学	宮崎県	60.0	55.3	-	-	46.5-480	NR	NR
	国	室蘭工業大学	北海道	43.8	-	52.3	50.1	46.5-480	NR	NR
	私	武蔵大学	東京都	-	84.5	28.5	-	46.5-480	NR	NR
	私	麗澤大学	千葉県	-	-	47.3	89.4	46.5-480	NR	NR
	私	専修大学	東京都	-	75.8	56.1	-	46.5-480	NR	NR
	私	東邦大学	東京都	60.2	-	53.4	-	46.5-480	NR	NR
	私	東北学院大学	宮城県	-	70.8	55.6	-	46.5-480	NR	NR

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育満足度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2016/17 順位	アジア2017 順位
101-110	私	津田塾大学	東京都	-	88.2	-	43.1	46.5-48.0	NR	NR
	私	福岡工業大学	福岡県	-	76.0	-	51.2	44.1-46.2	NR	NR
111-120	私	福島県立医科大学	福島県	74.5	-	-	-	44.1-46.2	NR	NR
	私	桜美林大学	東京都	-	77.0	-	67.9	44.1-46.2	NR	NR
	私	甲南大学	兵庫県	-	68.8	31.6	45.5	44.1-46.2	NR	NR
	公	札幌医科大学	北海道	79.6	-	-	-	44.1-46.2	NR	NR
	国	東京藝術大学	東京都	43.5	55.3	-	63.1	44.1-46.2	NR	NR
	国	東京学芸大学	東京都	47.4	59.0	-	-	44.1-46.2	NR	NR
	私	東京女子大学	東京都	-	67.6	28.5	53.1	44.1-46.2	NR	NR
	私	富山県立大学	富山県	55.6	62.6	-	-	44.1-46.2	NR	NR
121-130	公	和歌山大学	和歌山県	41.9	-	55.7	-	44.1-46.2	NR	NR
	国	旭川医科大学	北海道	75.6	-	-	-	42.2-44.0	NR	NR
	私	千葉工業大学	千葉県	-	68.8	31.3	-	42.2-44.0	801+	251+
	私	中京大学	愛知県	-	59.0	56.1	-	42.2-44.0	NR	NR
	公	広島市立大学	広島県	49.1	-	43.6	43.8	42.2-44.0	NR	NR
	私	京都外国語大学	京都府	-	57.4	-	70.5	42.2-44.0	NR	NR
	私	九州産業大学	福岡県	-	52.5	55.3	69.7	42.2-44.0	NR	NR
	公	長崎県立大学	長崎県	-	68.8	-	55.1	42.2-44.0	NR	NR
	私	名古屋商科大学	愛知県	-	75.4	-	68.2	42.2-44.0	NR	NR
	公	滋賀県立大学	滋賀県	45.0	-	52.1	-	42.2-44.0	NR	NR
	私	聖路加国際大学	東京都	70.5	-	-	-	42.2-44.0	NR	NR
	私	東京電機大学	東京都	-	51.9	57.2	-	42.2-44.0	801+	251+
131-140	私	神戸学院大学	兵庫県	58.4	-	28.3	-	39.6-42.0	NR	NR
	私	工学院大学	東京都	48.7	-	55.6	-	39.6-42.0	NR	NR
	私	久留米大学	福岡県	46.4	-	51.8	-	39.6-42.0	NR	NR
	私	宮崎国際大学	宮崎県	45.8	60.4	-	50.0	39.6-42.0	NR	NR
	私	奈良女子大学	奈良県	57.0	-	-	-	39.6-42.0	NR	NR
	国	大阪工業大学	大阪府	-	-	55.7	-	39.6-42.0	NR	NR
	私	滋賀医科大学	滋賀県	78.5	-	-	-	39.6-42.0	NR	NR
	国	崇城大学	熊本県	-	53.9	-	53.6	39.6-42.0	NR	NR
	私	高崎経済大学	群馬県	-	75.0	31.7	-	39.6-42.0	NR	NR
	公	亜細亜大学	東京都	-	47.4	-	78.8	38.6-39.5	NR	NR
141-150	私	広島工業大学	広島県	-	50.9	31.5	-	38.6-39.5	NR	NR
	公	岩手県立大学	岩手県	47.1	48.8	-	-	38.6-39.5	NR	NR
	私	関西医科大学	大阪府	70.9	-	-	-	38.6-39.5	NR	NR
	私	駒澤大学	東京都	-	67.3	31.5	-	38.6-39.5	NR	NR
	私	明海大学	千葉県	-	-	-	73.4	38.6-39.5	NR	NR
	公	宮城大学	宮城県	42.4	51.9	-	-	38.6-39.5	NR	NR
	国	大阪教育大学	大阪府	42.0	-	43.0	-	38.6-39.5	NR	NR
	私	流通経済大学	茨城県	-	52.7	46.0	55.6	38.6-39.5	NR	NR
	私	東京国際大学	埼玉県	-	-	-	95.7	38.6-39.5	NR	NR

分野別ランキング

教育リソース

* 1～100位は個別に順位がつきます。101位以下は150位まで各10段階を兼ねた順位を表示しています
* 総合ランキングへのリンク先にはかわらず、分野のスコアが高い順に並べています

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
1	国	東京医科歯科大学	東京都	87.9
2	国	東京大学	東京都	87.8
3	国	京都大学	京都府	84.2
4	国	東北大学	宮城県	83.6
5	国	浜松医科大学	静岡県	82.8
6	国	東京工業大学	東京都	82.2
7	私	豊田工業大学	愛知県	81.2
8	国	大阪大学	大阪府	80.4
9	国	名古屋大学	愛知県	80.1
10	公	札幌医科大学	北海道	79.6
11	国	九州大学	福岡県	79.1
12	私	滋賀医科大学	滋賀県	78.5
13	私	兵庫医科大学	兵庫県	77.4
14	公	奈良県立医科大学	奈良県	76.2
15	国	旭川医科大学	北海道	75.6
16	私	北海道大学	北海道	75.5
17	私	大阪医科大学	大阪府	74.7
18	公	福島県立医科大学	福島県	74.5
19	私	日本医科大学	東京都	73.5
20	国	筑波大学	茨城県	72.2
21	私	金沢医科大学	石川県	71.1
=22	私	関西医科大学	大阪府	70.9
=22	私	東京慈恵会医科大学	東京都	70.9
24	私	東京女子医科大学	東京都	70.8
25	私	聖路加国際大学	東京都	70.5
26	公	豊橋技術科学大学	愛知県	70.4
27	公	名古屋市立大学	愛知県	68.0
=28	国	東京農工大学	東京都	67.6
=28	公	横浜市立大学	神奈川県	67.6
30	国	福井大学	福井県	67.5
31	国	山梨大学	山梨県	67.2
32	国	金沢大学	石川県	67.0
33	国	広島大学	広島県	66.7
34	国	徳島大学	徳島県	66.2
35	国	熊本大学	熊本県	66.1
36	私	埼玉医科大学	埼玉県	65.9
=37	私	神戸大学	兵庫県	65.8
=37	私	昭和大大学	東京都	65.8
39	国	群馬大学	群馬県	64.6
40	国	千葉大学	千葉県	64.5
41	公	大阪市立大学	大阪府	64.4
42	私	藤田保健衛生大学	愛知県	64.0
43	私	長崎大学	長崎県	63.9
44	公	大阪府立大学	大阪府	63.8
45	公	九州歯科大学	福岡県	63.7
46	国	岡山大学	岡山県	63.6

分野別ランキング

教育満足度

* 1～100位は個別に順位がつきます。101位以下は150位まで各10段階を兼ねた順位を表示しています
* 総合ランキングへのリンク先にはかわらず、分野のスコアが高い順に並べています

順位	区分	教育機関	都道府県	教育満足度 Eteement
1	公	国際教養大学	秋田県	99.9
2	国	東京大学	東京都	99.8
=3	国	東北大学	宮城県	99.7
=3	国	京都大学	京都府	99.7
5	私	早稲田大学	東京都	99.5
6	私	慶應義塾大学	東京都	99.4
7	国	筑波大学	茨城県	99.1
8	国	大阪大学	大阪府	99.0
9	国	東京工業大学	東京都	98.8
=10	私	九州大学	福岡県	98.7
=10	私	国際基督教大学	東京都	98.7
12	私	上智大学	東京都	98.6
13	私	名古屋大学	愛知県	98.4
14	私	明治大学	東京都	98.3
15	国	北海道大学	北海道	98.2
16	国	一橋大学	東京都	97.8
17	国	広島大学	広島県	97.6
18	私	同志社大学	京都府	97.5
19	私	立命館大学	京都府	97.0
20	私	立命館フジタ太平洋大学	大分県	96.1
21	国	千葉大学	千葉県	96.0
22	私	東京外国語大学	東京都	95.7
23	私	近畿大学	大阪府	95.3
24	私	関西学院大学	兵庫県	94.9
25	私	青山学院大学	東京都	94.7
26	私	東京理科大学	東京都	94.4
=27	国	神戸大学	兵庫県	94.0
=27	私	神田外語大学	千葉県	94.0
29	私	金沢大学	石川県	93.7
30	私	東洋大学	東京都	93.1
31	私	日本大学	東京都	92.7
32	国	岡山大学	岡山県	92.4
33	私	関西大学	愛知県	90.7
34	私	関西大学	大阪府	90.5
35	私	金沢工業大学	石川県	90.4
36	私	中央大学	東京都	89.5
37	私	山形大学	山形県	88.3
38	私	津田塾大学	東京都	88.2
=39	私	会津大学	福島県	87.4
=39	国	九州工業大学	福岡県	87.4
41	国	新潟大学	新潟県	87.1
42	公	長岡技術科学大学	新潟県	86.9
43	公	北九州市立大学	福岡県	86.8
44	私	龍谷大学	京都府	86.1
45	私	西南学院大学	福岡県	86.0
46	国	横浜国立大学	神奈川県	84.7

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
47	国	長岡技術科学大学	新潟県	63.5
48	国	岐阜大学	岐阜県	62.5
49	国	筑波技術大学	茨城県	62.4
50	国	お茶の水女子大学	東京都	62.2
51	国	電気通信大学	東京都	61.6
52	私	新潟大学	新潟県	61.3
=53	私	慶應義塾大学	東京都	60.7
55	公	首都大学東京	東京都	60.7
56	私	東京海洋大学	東京都	60.6
57	私	北里大学	神奈川県	60.4
58	私	東邦大学	福島県	60.3
=59	国	信州大学	東京都	60.2
=59	国	宮崎大学	長野県	60.0
=61	公	秋田県立大学	宮崎県	60.0
=61	国	高知大学	秋田県	59.7
=61	国	鳥取大学	高知県	59.7
64	国	名古屋工業大学	愛知県	59.5
65	公	秋田大学	秋田県	59.1
66	公	岐阜薬科大学	岐阜県	58.8
67	国	三重大学	三重県	58.7
=68	私	佐賀大学	佐賀県	58.4
=68	私	神戸学院大学	兵庫県	58.4
70	私	京都工芸繊維大学	京都府	58.3
71	国	愛媛大学	愛媛県	57.1
72	国	奈良女子大学	奈良県	57.0
=73	国	岩手大学	岩手県	56.4
=73	国	香川大学	香川県	56.4
=75	国	島根大学	島根県	56.0
77	国	鹿児島大学	鹿児島県	55.8
78	国	富山県立大学	富山県	55.7
80	公	富山県立大学	富山県	55.6
=81	国	九州工業大学	福岡県	55.4
=81	私	山口大学	山口県	55.3
83	公	星薬科大学	東京都	55.3
84	私	茨城県立医療大学	茨城県	55.2
85	私	大分大学	大分県	55.1
86	私	京都薬科大学	京都府	53.5
87	私	早稲田大学	東京都	52.9
88	私	横浜国立大学	神奈川県	52.6
89	公	国際基督教大学	東京都	52.2
=90	私	兵庫県立大学	兵庫県	51.8
=90	国	宇都宮大学	栃木県	51.7
=92	私	鹿屋体育大学	鹿児島県	51.6
93	私	東京薬科大学	東京都	51.5
94	私	東京理科大学	東京都	51.5
96	国	埼玉大学	埼玉県	50.5
97	公	奈良教育大学	奈良県	50.2
98	私	愛媛県立医療技術大学	静岡県	49.7
=99	私	麻布大学	神奈川県	49.6
	国	一橋大学	東京都	49.2

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
=99	私	立命館大学	京都府	49.2
101-110	私	芝浦工業大学	東京都	49.1
	公	広島市立大学	広島県	49.1
	私	工学院大学	東京都	48.7
	公	県立広島大学	広島県	48.7
	公	福岡女子大学	福岡県	48.6
	私	大阪薬科大学	大阪府	48.4
	公	三重県立看護大学	三重県	47.6
	私	東京学芸大学	東京都	47.4
	私	岩手県立大学	岩手県	47.1
111-120	私	東京純心大学	東京都	46.9
	国	宮城教育大学	宮城県	46.8
	私	久留米大学	福岡県	46.4
	私	北見工業大学	北海道	45.9
	公	宮崎国際大学	宮崎県	45.6
	公	国際教養大学	秋田県	45.6
	私	茨城大学	茨城県	45.5
	私	群馬県立県民健康科学大学	群馬県	45.4
	私	学習院大学	東京都	45.3
	私	日本赤十字看護大学	東京都	45.2
121-130	私	明治大学	東京都	45.1
	公	滋賀県立大学	滋賀県	45.0
	私	明治国際医療大学	京都府	44.4
	私	北海道医療大学	北海道	44.1
	公	名古屋市立大学	北海道	44.0
	私	室蘭工業大学	北海道	43.8
	国	朝日大学	岐阜県	43.6
	私	東京藝術大学	東京都	43.5
	私	近畿大学	大阪府	43.4
	私	同志社大学	京都府	43.2
131-140	私	宇都宮共和大学	栃木県	43.2
	私	埼玉県立大学	埼玉県	43.0
	私	関西大学	東京都	42.9
	私	九州保健福祉大学	大阪府	42.8
	私	宮城大学	宮城県	42.6
	私	青山学院大学	宮城県	42.4
	国	大阪教育大学	東京都	42.0
	私	和歌山大学	大阪府	41.9
	私	兵庫医療大学	和歌山県	41.9
	私	中央大学	兵庫県	41.8
141-150	私	東京農業大学	東京都	41.5
	私	福島大学	福島県	40.8
	私	吉備国際大学	岡山県	40.5
	私	森ノ宮医療大学	大阪府	40.5
	私	高岡法科大学	富山県	40.4
	私	愛知県立大学	愛知県	40.3
	私	鹿児島純心女子大学	鹿児島県	40.1
	私	鹿屋体育大学	鹿児島県	40.0
	私	成蹊大学	東京都	39.9
	私	愛知教育大学	愛知県	39.9
	私	北海道教育大学	北海道	39.9
	私	修文大学	愛知県	39.9

順位	区分	教育機関	都道府県	教育満足度 Eteement
100	公	富山県立大学	富山県	62.6
101-110	国	豊橋技術科学大学	愛知県	62.2
	国	京都工芸繊維大学	京都府	61.9
	私	宮崎国際大学	宮城県	60.4
	私	広島修道大学	広島県	60.4
	公	宮崎公立大学	宮崎県	60.4
	公	兵庫県立大学	兵庫県	60.4
	公	香川大学	香川県	59.4
	国	東京学芸大学	東京都	59.0
	私	中京大学	愛知県	59.0
111-120	公	新潟県立大学	新潟県	58.0
	私	秋田大学	秋田県	57.6
	私	京都外国語大学	京都府	57.5
	私	名古屋工業大学	愛知県	57.4
	私	岡山理科大学	岡山県	57.1
	公	群馬県立女子大学	群馬県	56.4
	私	東京藝術大学	宮崎県	56.1
	国	東京文化大学	東京都	55.3
	私	金沢星槎大学	石川県	55.2
	私	北星学園大学	北海道	54.6
121-130	私	崇城大学	北海道	54.4
	私	高知大学	熊本県	53.9
	私	文教大学	東京都	53.0
	公	釧路公立大学	東京都	52.8
	私	千葉商科大学	千葉県	52.8
	私	東北工業大学	北海道	52.8
	私	流通経済大学	宮城県	52.7
	私	九州産業大学	茨城県	52.7
131-140	私	神戸女学院大学	福岡県	52.5
	私	東京電機大学	東京都	52.5
	私	宮城大学	東京都	51.9
	国	東京医科歯科大学	東京都	51.9
	私	広島工業大学	東京都	51.2
	私	昭和女子大学	東京都	50.9
	私	女子栄養大学	東京都	50.9
	私	武蔵川女子大学	埼玉県	50.9
	私	鳥取大学	鳥取県	50.5
	国	徳島大学	徳島県	50.5
	私	京都市立大学	鳥取県	50.5
	私	梅光学院大学	山口県	50.3
141-150	国	三重大大学	三重県	49.4
	私	共栄学園前橋国際大学	大分県	49.2
	公	岩手県立大学	群馬県	48.8
	私	日本工業大学	埼玉県	48.8
	私	山口県立大学	山口県	48.7
	私	拓殖大学	東京都	48.7
	私	亜細亜大学	東京都	47.4
	私	安田女子大学	広島県	47.0

分野別ランキング

教育成果

* 1～100位は個別に順位がつきます。101位以下は150位まで各100程度を兼ねた順位を提示しています
* 総合ランキングへのリンク先にはかわらず、分野のスコアが高い順に並べています

順位	区分	教育機関	都道府県	教育成果 Outcomes
1	国	東京大学	東京都	97.1
=2	国	京都大学	京都府	97.0
=2	国	大阪大学	大阪府	97.0
4	私	慶應義塾大学	宮城県	96.8
5	私	名古屋大学	愛知県	96.5
6	国	東京工業大学	東京都	96.2
7	国	北海道大学	北海道	96.0
8	国	九州大学	福岡県	95.6
9	私	早稲田大学	東京都	95.3
10	私	一橋大学	東京都	91.2
11	国	筑波大学	茨城県	87.1
12	国	神戸大学	兵庫県	86.4
13	国	広島大学	広島県	83.2
14	国	東京理科大学	東京都	76.2
15	私	千葉大学	千葉県	68.1
16	国	立命館大学	京都府	67.0
17	私	上智大学	東京都	65.7
18	私	金沢工業大学	石川県	64.9
19	私	国際基督教大学	東京都	64.8
20	私	首都大学東京	東京都	64.5
21	公	国際教養大学	秋田県	64.1
22	公	東京農工大学	東京都	63.6
23	国	岡山大学	岡山県	63.1
24	国	横浜国立大学	神奈川県	62.8
25	国	熊本大学	熊本県	62.5
26	私	同志社大学	京都府	61.1
27	私	新潟大学	新潟県	60.9
28	国	金沢大学	石川県	60.4
29	国	九州工業大学	福岡県	60.2
30	国	東京海洋大学	東京都	59.9
31	公	大阪府立大学	大阪府	59.8
=32	公	大阪府立大学	大阪府	59.8
=34	私	長岡技術科学大学	新潟県	59.6
=34	私	明治大学	東京都	59.6
=34	私	東海大学	神奈川県	59.6
37	私	近畿大学	大阪府	59.5
38	国	鹿児島大学	鹿児島県	59.4
39	私	立命館フジタ太平洋大学	大分県	59.3
40	私	関西学院大学	兵庫県	59.2
41	私	日本大学	東京都	58.9
42	私	名古屋工業大学	愛知県	58.2
43	公	北九州市立大学	福岡県	58.1
=44	私	中央大学	東京都	58.0
=44	国	静岡大学	静岡県	58.0
46	国	京都工芸繊維大学	京都府	57.8

分野別ランキング国際性

* 1～100位は個別に順位がつきます。101位以下は150位まで各100程度を兼ねた順位を提示しています
* 総合ランキングへのリンク先にはかわらず、分野のスコアが高い順に並べています

順位	区分	教育機関	都道府県	国際性 Environment
1	私	立命館フジタ太平洋大学	大分県	100.0
2	私	大阪経済法科大学	大阪府	99.6
3	私	東京国際大学	埼玉県	95.7
4	私	麗澤大学	千葉県	89.4
5	私	上智大学	東京都	88.8
6	国	東京外国語大学	東京都	87.5
7	私	福岡女子大学	福岡県	85.7
8	私	山梨学院大学	山梨県	84.7
9	私	国際基督教大学	石川県	83.9
10	私	北陸大学	石川県	83.5
11	私	亜細亜大学	東京都	78.8
12	公	会津大学	福島県	75.8
13	私	国際基督教大学	秋田県	74.4
14	私	神戸国際大学	兵庫県	73.9
15	私	明海大学	千葉県	73.4
16	私	聖学院大学	埼玉県	73.1
=17	私	早稲田大学	東京都	72.9
=17	私	名古屋経済大学	千葉県	72.9
19	私	神田外国語大学	東京都	71.9
20	私	京都外国語大学	京都府	70.5
21	国	筑波大学	茨城県	70.1
22	私	梅光学院大学	山口県	70.0
=23	私	九州産業大学	福岡県	69.7
=23	私	フジタフジタ太平洋大学	東京都	69.7
25	国	長岡技術科学大学	新潟県	69.6
26	国	名古屋大学	愛知県	68.9
27	私	共愛学園前橋国際大学	群馬県	68.6
=28	私	名古屋国際大学	愛知県	68.2
30	私	一橋大学	岡山県	67.9
=30	私	桜美林大学	東京都	67.9
32	私	大阪産業大学	大阪府	67.8
33	私	長崎国際大学	長崎県	67.0
34	私	南山大学	愛知県	66.6
=35	私	立命館大学	京都府	65.4
=35	私	関西外国語大学	大阪府	65.4
38	私	大阪女学院大学	大阪府	65.1
=39	私	徳山大学	山口県	64.9
=39	私	沖繩キリスト教学院大学	大阪府	64.9
=41	私	東北大学	宮城県	64.8
=41	私	拓殖大学	東京都	64.8
43	私	羽衣国際大学	大阪府	64.6
44	国	九州大学	福岡県	64.4
45	国	東京工業大学	東京都	63.7
46	私	関東学院大学	群馬県	63.5

順位	区分	教育機関	都道府県	教育成果 Outcomes
=47	国	山口大学	山口県	57.6
=47	私	関西大学	大阪府	57.6
=49	私	芝浦工業大学	東京都	57.2
=49	国	岐阜大学	岐阜県	57.2
=49	私	東京電機大学	東京都	57.2
=52	私	埼玉大学	埼玉県	57.0
=52	私	東京農業大学	東京都	57.0
=54	私	青山学院大学	東京都	56.8
=54	私	愛媛大学	愛媛県	56.6
56	国	信州大学	長野県	56.5
=58	私	信州大学	長野県	56.4
=60	私	兵庫県立大学	兵庫県	56.4
=60	私	南山大学	愛知県	56.3
=62	私	学習院大学	東京都	56.2
=62	私	茨城大学	茨城県	56.2
=64	私	龍谷大学	京都府	56.1
=64	私	専修大学	東京都	56.1
=64	私	中央大学	愛知県	56.1
=67	私	宇都宮大学	栃木県	56.0
=67	私	成蹊大学	東京都	56.0
=69	私	長崎大学	長崎県	55.9
=69	私	京都市立大学	京都府	55.8
71	私	京都市立大学	京都府	55.8
=72	国	和歌山大学	和歌山県	55.7
=72	私	大阪工業大学	大阪府	55.7
=74	私	豊橋技術科学大学	愛知県	55.6
=74	私	東北学院大学	宮城県	55.6
=74	私	工学院大学	東京都	55.6
=74	私	中部大学	愛知県	55.6
=78	国	山形大学	山形県	55.5
=78	私	佐賀大学	佐賀県	55.5
=78	私	東京経済大学	東京都	55.5
81	私	名城大学	愛知県	55.4
82	私	九州産業大学	福岡県	55.3
=83	私	秋田大学	秋田県	55.1
=83	私	愛知学院大学	愛知県	55.1
85	国	東京外国語大学	東京都	54.5
=86	私	横浜国立大学	神奈川県	54.1
=86	私	三重大学	三重県	54.1
=88	国	電気通信大学	東京都	53.9
=88	私	群馬大学	群馬県	53.9
90	私	北里大学	神奈川県	53.8
=91	国	岩手大学	岩手県	53.7
=91	国	山梨大学	山梨県	53.7
93	国	徳島大学	徳島県	53.6
=94	私	鳥取大学	鳥取県	53.5
=94	私	東京工科大学	東京都	53.5
96	私	東邦大学	東京都	53.4
97	私	玉川大学	東京都	53.0
=98	私	福井大学	福井県	52.9
=98	私	神田外国語大学	千葉県	52.9

順位	区分	教育機関	都道府県	教育成果 Outcomes
100	私	京都薬科大学	京都府	52.6
101-110	国	鳥根大学	京都府	52.5
	国	高知大学	高知県	52.4
	国	福岡大学	福岡県	52.4
	国	室蘭工業大学	北海道	52.3
	私	関西外国語大学	大阪府	52.2
	私	滋賀県立大学	滋賀県	52.1
111-120	私	久留米大学	福岡県	51.8
	私	明星大学	東京都	51.8
	私	大分大学	大分県	51.6
	私	秋田県立大学	秋田県	50.2
	私	創価大学	東京都	48.3
	私	東京薬科大学	東京都	47.5
	私	麗澤大学	千葉県	47.3
	私	湘南工科大学	神奈川県	46.6
	私	徳島文理大学	徳島県	46.4
	私	流通経済大学	茨城県	46.0
	私	お茶の水女子大学	東京都	45.2
	公	広島市立大学	広島県	43.6
	公	会津大学	福島県	42.8
121-130	私	福岡女子大学	福岡県	42.7
	私	東京工芸大学	神奈川県	41.1
	私	東京医科歯科大学	東京都	37.0
	私	明治学院大学	東京都	37.7
	公	高崎経済大学	群馬県	31.7
	私	西南学院大学	福岡県	31.6
	私	甲南大学	兵庫県	31.6
	私	広島工業大学	広島県	31.5
	私	駒澤大学	東京都	31.5
131-140	私	愛知工業大学	愛知県	31.5
	私	大東文化大学	東京都	31.4
	私	千葉工業大学	千葉県	31.3
	私	関東学院大学	神奈川県	31.3
	私	国士館大学	大阪府	31.2
	私	拓殖大学	東京都	31.1
	私	立正大学	東京都	31.1
	私	國學院大學	東京都	28.9
	私	成城大学	東京都	28.7
	私	多摩美術大学	東京都	28.7
141-150	私	文政大学	東京都	28.6
	私	武蔵大学	東京都	28.6
	私	東京女子大学	東京都	28.5
	私	愛知学院大学	東京都	28.5
	私	大正大学	東京都	28.4
	私	香川大学	香川県	28.4
	私	神戸学院大学	兵庫県	28.3
	私	大同大学	愛知県	28.3
	私	広島修道大学	広島県	28.3

順位	区分	教育機関	都道府県	国際性 Environment
=99	私	武蔵野美術大学	東京都	50.1
101-110	私	宮崎国際大学	宮崎県	50.0
	私	岡山商科大学	岡山県	50.0
	私	東京富士大学	東京都	50.0
	私	名古屋工業大学	愛知県	49.3
	私	広島修道大学	広島県	49.3
	私	白鷗大学	大阪府	49.2
	私	明治学院大学	東京都	48.6
	私	愛知学院大学	愛知県	48.6
111-120	私	高岡法科大学	富山県	48.3
	私	天理大学	奈良県	48.1
	私	昭和女子大学	東京都	48.0
	私	前橋工科大学	群馬県	48.0
	私	千葉大学	千葉県	47.9
	私	東京農工大学	東京都	47.9
	私	城西大学	埼玉県	47.7
	私	静岡産業大学	静岡県	47.6
	私	長崎大学	長崎県	47.4
	私	青山学院大学	東京都	47.3
	私	首都大学東京	東京都	47.0
	私	神戸女学院大学	兵庫県	46.6
	私	群馬県立女子大学	群馬県	46.2
121-130	私	東北公益文科大学	山形県	45.6
	私	秋田大学	秋田県	45.5
	私	甲南大学	兵庫県	45.5
	私	東洋大学	東京都	45.4
	私	多摩美術大学	東京都	45.2
	私	広島経済大学	広島県	45.2
	私	神奈川大学	神奈川県	45.1
	私	松山東雲女子大学	広島府	43.9
	私	龍谷大学	京都府	43.8
	私	熊本県立大学	熊本県	43.4
131-140	公	公立鳥取環境大学	鳥取県	44.8
	公	山口県立大学	山口県	44.6
	公	千葉商科大学	千葉県	44.4
	私	北星学園大学	北海道	44.1
	私	松山大学	愛媛県	44.1
	私	京都市立大学	京都府	43.9
	私	岡山大学	岡山県	43.4
	私	国士館大学	東京都	43.3
	私	中央大学	東京都	43.2
	私	津田塾大学	東京都	43.1
	私	大谷大学	京都府	42.9
	私	秋田県立大学	秋田県	42.8
	私	新潟経営大学	新潟県	42.7